

# 2017年（平成29年） 投資信託に関するアンケート調査 調査結果サマリー

## Point

- 投資信託現在保有者の内、積立投資の利用状況は30.9%。年代別では20代が多い。（P20）
- つみたてNISAの認知率は21.5%。iDeCoの認知率は24.3%。  
なお、iDeCoの利用率は2.1%。いずれも2017年9月時点調査。（P32）



2018年（平成30年）3月  
一般社団法人 投資信託協会

■ 調査計画の概要	-----	2
1. 本調査の回答者プロフィール	-----	3
2. 投資信託の保有状況	-----	5
3. 投資信託の購入・保有に関する意識	-----	8
4. 投資信託の積立投資の認知・利用状況	-----	18
5. 毎月分配型投資信託についての意識	-----	21
6. 投資信託の非購入理由	-----	30
7. 投資信託購入検討のきっかけ	-----	31
8. 各投資制度の認知状況	-----	32

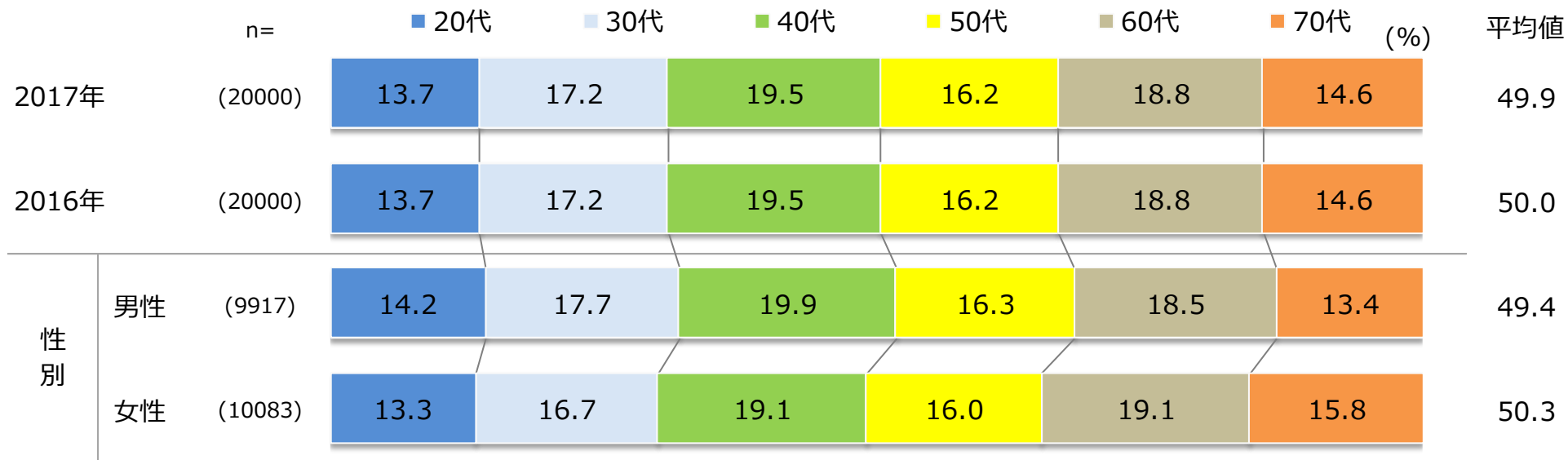
# ■調査計画の概要

調査の目的	全国の20歳～79歳の男女個人を対象に、投資信託の保有状況や特徴 認知、満足度、積立投資の認知などを把握すると同時に、投資信託保有未経験層に対しては、非購入理 由や購入検討のきっかけを確認することで、「貯蓄から資産形成へ」の流れを促進するための課題を探り、 今後の投資信託の利用拡大及び啓発普及活動に役立つ資料とすること。								
調査手法	インターネット調査（抽出フレーム：インターネットモニター） ※ インターネット調査のモニターは、一般的に情報感度が高い事が確認されており、金融商品（投資信託） においては保有率や制度認知が郵送調査モニターなどに比べて高めに出る傾向にあります。								
調査地域	全国（首都圏、阪神圏、その他地域の3ブロック）								
調査対象	20～79歳の男女								
サンプル数	総計20,000サンプル * 性・年代・エリアで割付実施（割付は平成28年1月1日現在の住民基本台帳に基づく）。 * 職業条件による除外は実施していない。 <性・年代・エリアごとの回収数詳細>								
			20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	20-79歳計
	男性	首都圏	431	556	634	458	479	361	2919
		阪神圏	201	241	290	220	259	200	1411
		その他地域	774	954	1051	940	1101	767	5587
		男性計	1406	1751	1975	1618	1839	1328	9917
	女性	首都圏	406	521	592	431	493	418	2861
		阪神圏	200	246	295	227	281	240	1489
		その他地域	735	921	1036	954	1151	936	5733
		女性計	1341	1688	1923	1612	1925	1594	10083
	<b>TOTAL</b>	<b>2747</b>	<b>3439</b>	<b>3898</b>	<b>3230</b>	<b>3764</b>	<b>2922</b>	<b>20000</b>	
	※ エリアの定義とエリア計での回収数は以下の通り。 【首都圏】 東京、神奈川、埼玉、千葉／計5780サンプル    【阪神圏】 大阪、京都、兵庫、奈良／計2900サンプル 【その他地域】 上記以外の都道府県／計11320サンプル								
調査時期	2017年9月15日（金）～ 9月27日（水）								
調査主体	一般社団法人 投資信託協会								
調査実施機関	株式会社インテージ								

# 1. 本調査の回答者プロフィール

## 回答者の性別・年代

(Q28・29)



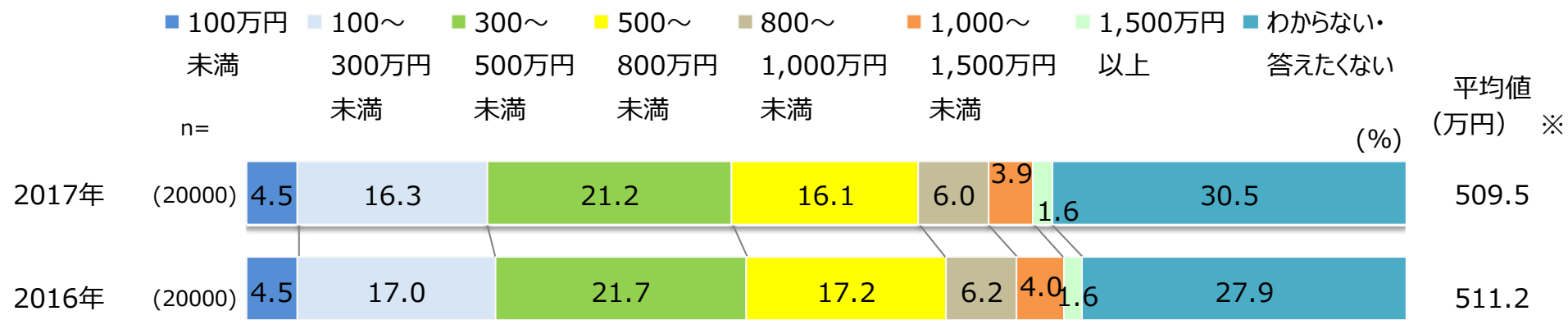
※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

100万円未満：50万円 / 100～300万円未満：200万円 / 200～500万円未満：400万円 / 500～800万円未満：650万円 / 800万円～1000万円未満：900万円 / 1000～1500万円未満：1250万円 / 1500万円以上：1750万円

# 1. 本調査の回答者プロフィール

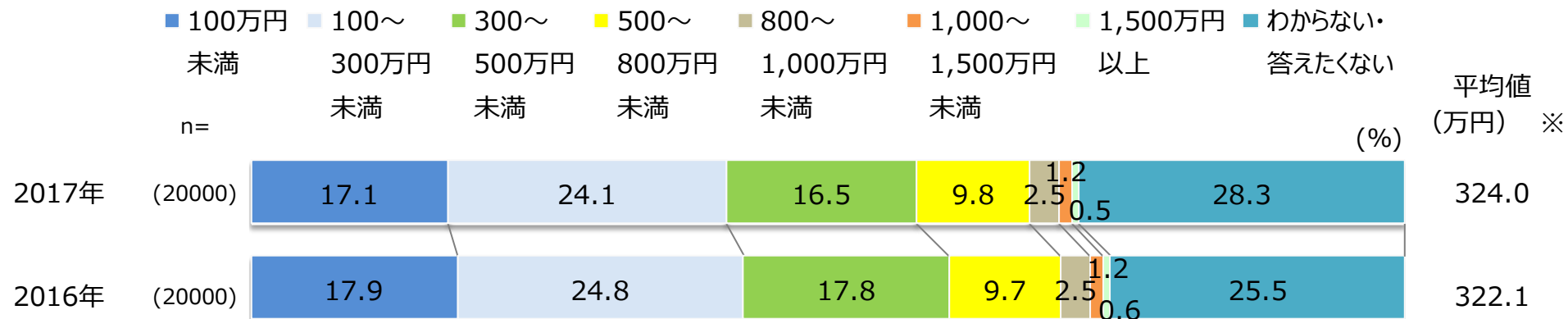
## 回答者の世帯年収

(Q31①)



## 回答者の個人年収

(Q31①)



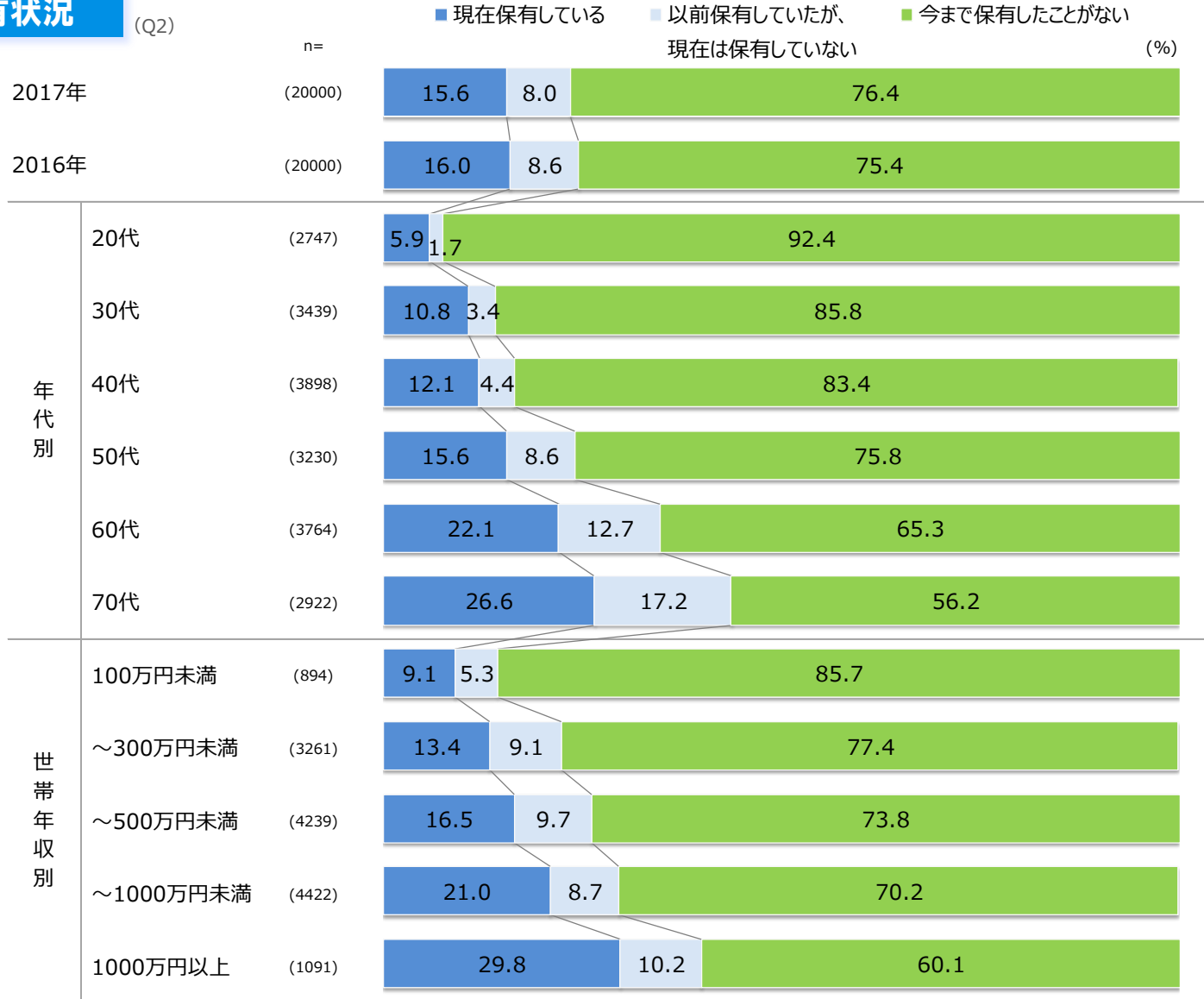
※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

100万円未満：50万円 / 100~300万円未満：200万円 / 300~500万円未満：400万円 / 500~800万円未満：650万円 / 800万円~1000万円未満：900万円 / 1000~1500万円未満：1250万円 / 1500万円以上：1750万円

## 2. 投資信託の保有状況（1）

### 投資信託の保有状況

(Q2)



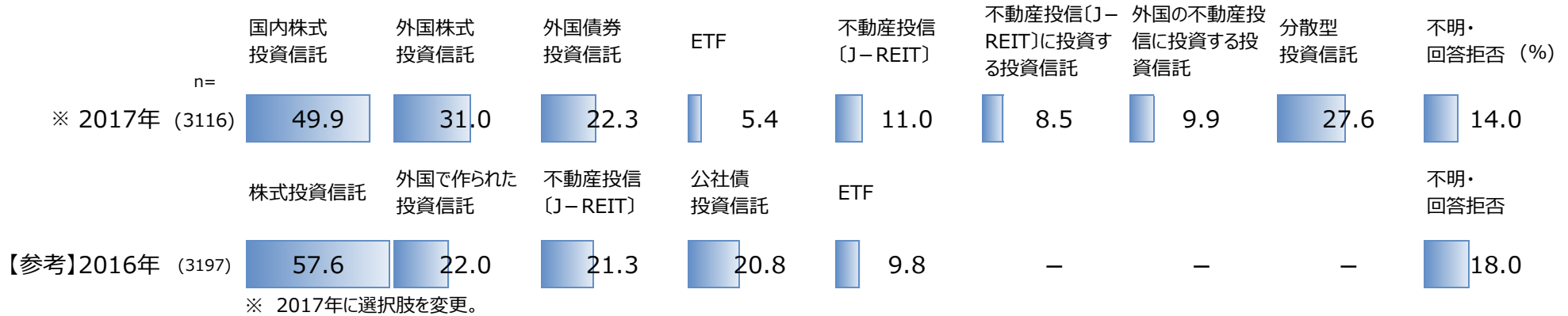
- 投信の保有状況は、“現在保有層”が15.6%と前回（16.0%）同水準となる。
- 年代や世帯年収が上がるにつれ、投資信託の“現在保有層”、“保有経験層”ともに増加する。

## 2. 投資信託の保有状況 (2)

### 保有している投資信託の種類 (重複回答)

(Q5)

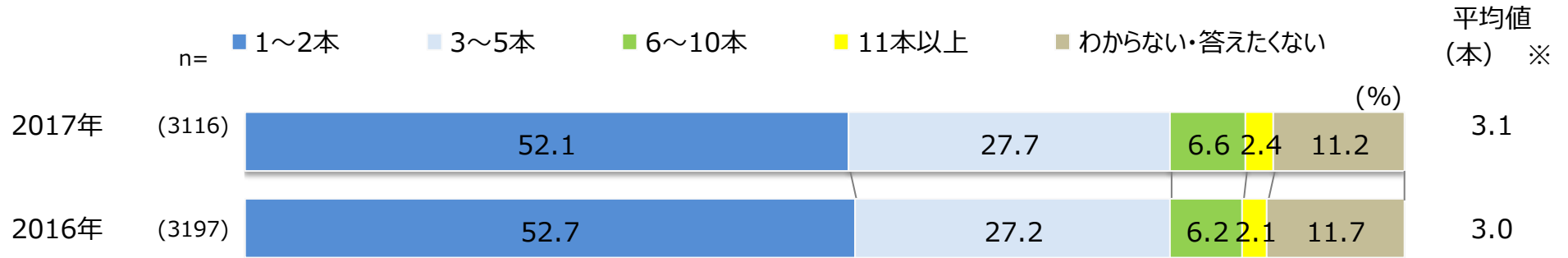
(投資信託現在保有者ベース)



### 現在保有している投資信託の本数

(Q3)

(投資信託現在保有者ベース)



※ 平均値は「本数不明・回答拒否」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は次の通り 1~2本 : 1.5本 / 3~5本 : 4本 / 6~10本 : 8本 / 11本以上 : 13本

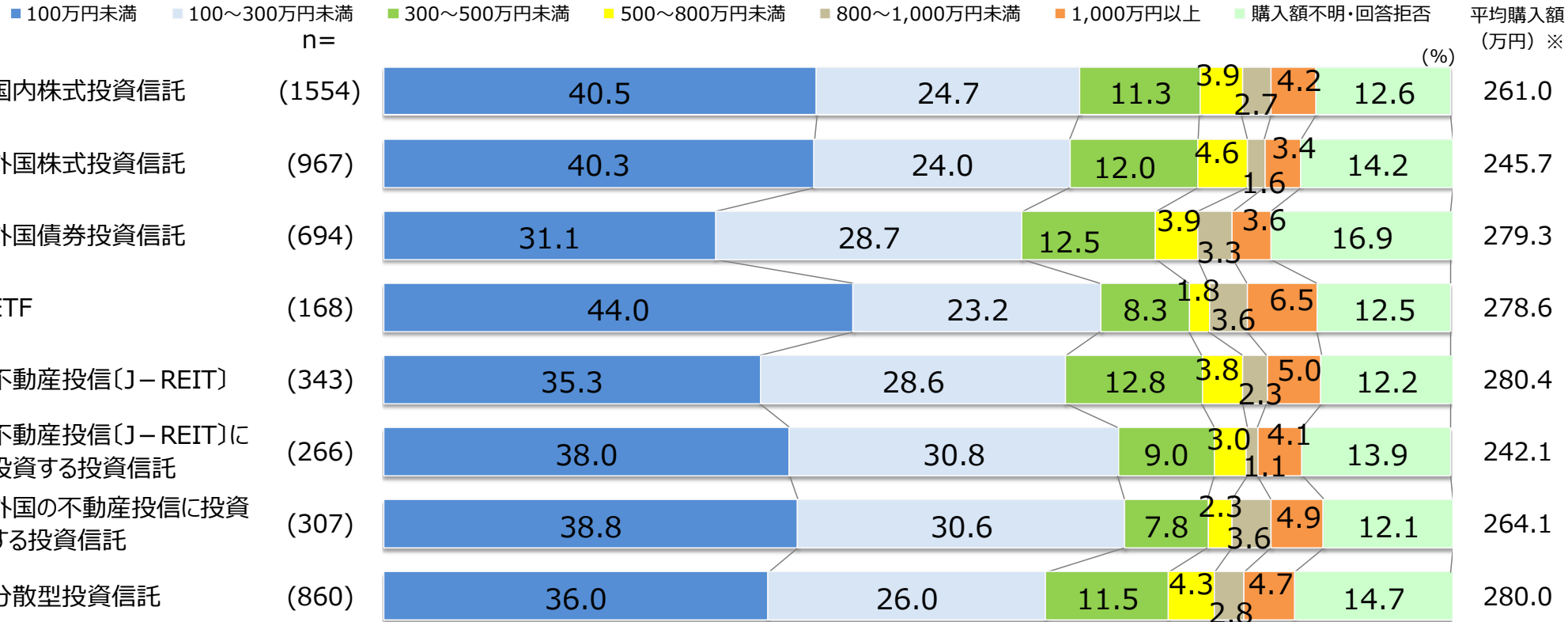
- 現在保有している投資信託の種類は、「国内株式投資信託」が49.9%で最多。次いで「外国株式投資信託」「分散型投資信託」「外国債券投資信託」が続く。
- 現在保有している投資信託の保有本数は、「1~2本」(52.1%)が半数以上を占め、平均本数は3.1本。前回と大きな差は見られない。

## 2. 投資信託の保有状況 (3)

### 保有している投資信託の種類別購入額

(Q6)

(各投資信託現在保有者ベース)



※ 平均値は「購入額不明・回答拒否」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

100万円未満：50万円 / 100～300万円未満：200万円 / 300～500万円未満：400万円 / 500～800万円未満：650万円 / 800～1000万円未満：900万円 / 1000万円以上：1500万円

- 種類別の平均購入額は「不動産投信(J-REIT)」「分散型投資信託」「外国債券投資信託」「ETF」が280万円程度で高い。

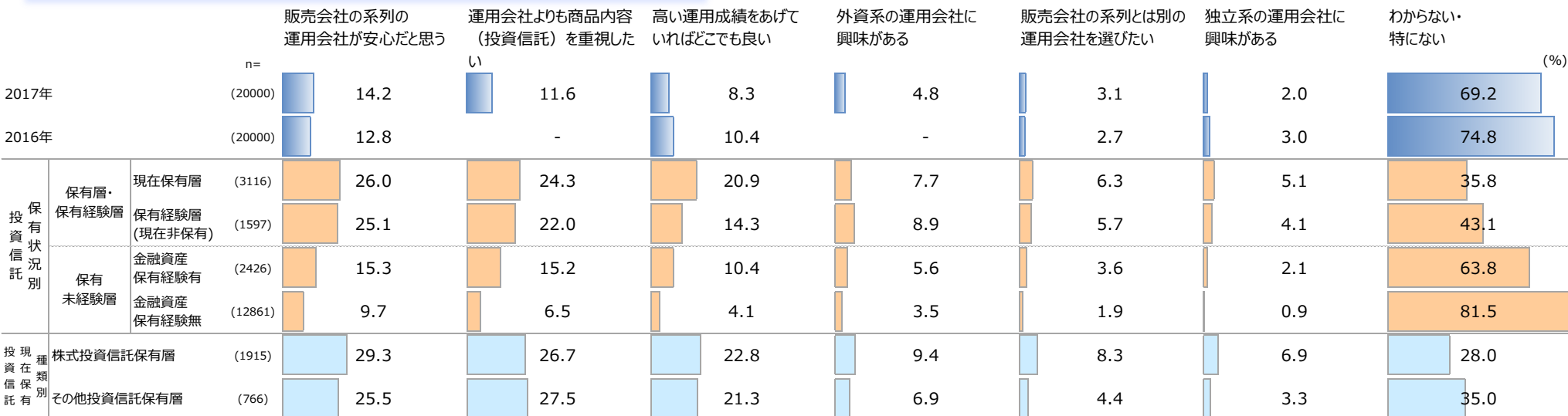


# 3. 投資信託の購入・保有に関する意識（1）



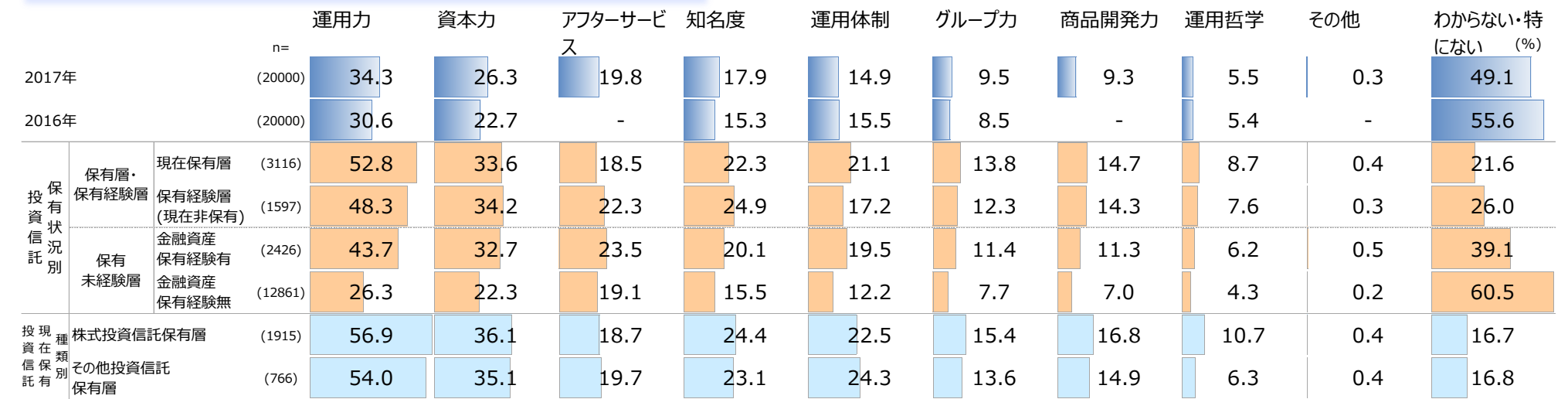
## 運用会社についての考え（重複回答）

(Q13) ※選択肢「運用会社よりも商品内容(投資信託)を重視したい」「外資系の運用会社に興味があるは2017年より聴取



## 投資信託購入の際の運用会社の重視点（重複回答）

(Q14) ※選択肢「アフターサービス」「商品開発力」は2017年より聴取



- 投資信託の運用会社選びでは、「わからない・特にな」が69.2%と、前回同様に大半の人が選択基準を想起できない様子。投資信託の現在保有層では、「販売会社系列の運用会社が安心」という一方で「運用会社よりも商品内容を重視」「高い運用成果をあげていればどこでも」も高い。
- 運用会社の重視点は、前回同様「運用力」(34.3%)が最も高く、「資本力」(26.3%)が続く一方で、「わからない・特にな」(49.1%)も半数近くと高い。投資信託保有状況別では、投資との関連が強いほど、どの項目も重視度が高くなるが、「運用力」では特にその傾向が顕著。

# 3. 投資信託の購入・保有に関する意識（2）



## 投資信託の特徴で知っているもの（重複回答）

(Q8)

	n=	元本の保証はない	国内と海外の投信がある	価格変動と為替リスクがある	外国の株式投資もできる	証券会社以外でも購入できる	購入金額が大きい	リスクが高い	関連する情報は	インターネットで調べられる	NISAやDIAで利用できる	運用会社が信託している	運用費用がかかる	販売手数料がかかる	別運用会社が管理している	投資信託の評価を	基準価額は新聞で見る	MRFは投資信託	投資信託は銀行で分ける	この中でも知っている（%）
2017年	(20000)	46.2	32.6	32.5	31.4	28.0	23.3	21.2	16.9	9.5	9.0	8.7	5.9	39.8						
2016年	(20000)	46.4	32.2	32.7	31.1	27.9	23.4	20.9	16.0	10.0	9.3	9.5	6.2	39.9						
性別																				
男性	(9917)	48.4	33.7	34.7	31.6	32.9	24.8	25.1	19.7	11.7	10.2	10.4	7.7	38.0						
女性	(10083)	44.1	31.5	30.3	31.1	23.1	21.9	17.4	14.2	7.4	7.8	7.0	4.2	41.7						
年代別																				
20代	(2747)	22.3	18.4	19.2	16.5	18.2	14.6	12.1	8.0	6.1	3.8	4.5	3.0	61.0						
30代	(3439)	38.0	26.9	26.8	23.2	23.9	20.3	16.7	13.1	8.8	5.1	5.6	4.4	47.6						
40代	(3898)	44.4	29.8	29.9	28.1	25.5	20.1	18.7	14.5	8.5	7.0	8.3	5.4	43.2						
50代	(3230)	53.8	33.7	34.7	34.9	32.6	23.7	22.1	17.9	10.2	8.9	10.5	6.0	34.9						
60代	(3764)	56.9	41.2	39.3	41.2	33.7	30.9	26.3	22.8	11.5	13.2	11.2	7.7	29.3						
70代	(2922)	58.9	44.3	43.9	42.7	32.5	29.2	31.0	24.3	11.7	15.7	11.7	8.6	25.3						
世帯年収別																				
100万円未満	(894)	30.6	20.1	21.6	19.2	17.7	16.3	12.4	9.6	5.7	5.5	5.5	3.1	53.9						
～300万円未満	(3261)	44.5	30.7	29.5	29.6	24.0	20.8	18.3	14.0	7.5	7.7	6.5	4.0	40.3						
～500万円未満	(4239)	50.4	35.6	34.8	34.2	30.5	25.5	23.5	18.1	9.6	9.4	8.4	5.8	34.2						
～1000万円未満	(4422)	56.2	40.9	40.6	39.3	36.5	29.9	28.4	22.8	13.2	11.6	12.4	8.3	28.7						
1000万円以上	(1091)	64.9	47.9	48.5	48.8	44.5	37.2	37.3	29.6	20.2	17.5	18.3	13.8	20.7						
投資信託保有状況別																				
保有層・保有経験層	(3116)	79.0	67.6	63.1	62.3	53.2	56.5	52.1	47.3	26.9	29.8	26.4	18.2	6.8						
保有経験層（現在非保有）	(1597)	71.8	56.2	53.2	54.1	44.3	35.0	37.1	31.8	17.2	18.3	20.4	12.0	10.5						
保有層・未経験層	(2426)	57.5	35.8	39.3	37.4	34.5	28.3	26.8	20.1	10.4	7.6	9.4	6.6	27.7						
未経験層	(12861)	33.0	20.6	21.2	19.9	18.6	12.9	10.7	7.1	4.2	3.0	2.9	2.0	53.8						
投資信託保有種類別																				
株式投資信託保有層	(1915)	80.9	73.4	67.0	65.3	57.1	59.3	55.5	52.2	30.9	33.3	30.4	20.7	4.0						
その他投資信託保有層	(766)	86.4	69.1	67.2	66.7	56.1	60.6	56.9	49.5	25.3	31.7	23.6	18.0	2.3						

- 投資信託の特徴認知は、全体的に前回から大きな変動はみられない。「元本保証がない」(46.2%)が最も高く、「国内と海外の投信がある」(32.6%)、「価格変動と為替リスクがある」(32.5%)、「証券会社以外でも購入できる」(31.4%)が上位にあがる。その一方で「知っているものはない」(39.8%)も高い。
- 年代別、世帯年収別では、共に上の階層になるほど、どの項目も認知率は増す傾向。

# 3. 投資信託の購入・保有に関する意識（3）

## 投資信託の特徴で知っているもの（重複回答）

(Q8)

元本の保証はない  
 国内の投資信託と  
 海外の投資信託と  
 ある投資信託と  
 価格変動と  
 外国投資と  
 もに投資と  
 リスクがある  
 銀行など以外  
 証券会社以外  
 の金融機関で  
 購入できる  
 リスクと  
 関係する  
 NISAや  
 投資信託  
 運用会社  
 販売手数料  
 費用がかかる  
 投資信託の  
 評価を  
 基準額や  
 見ることは  
 MRFは投資  
 商品はある  
 投資信託は  
 保管され  
 この中でも  
 知っている

		n=														(%)
2017年 TOTAL		(20000)	46.2	32.6	32.5	31.4	28.0	23.3	21.2	16.9	9.5	9.0	8.7	5.9	39.8	
20代	100万円未満	(214)	14.0	13.1	16.8	11.2	14.0	10.3	7.9	4.7	3.7	2.3	2.8	0.9	66.4	
	～300万円未満	(473)	18.0	15.6	15.0	14.4	15.2	11.2	9.5	5.7	5.1	2.5	3.4	2.3	63.8	
	～500万円未満	(600)	32.5	25.8	27.2	23.2	23.3	20.2	19.7	12.2	8.2	5.8	6.0	4.2	48.3	
	～1000万円未満	(374)	35.0	29.7	28.1	25.7	29.4	23.0	18.4	14.2	9.6	6.1	8.8	5.1	42.0	
	1000万円以上	(112)	33.9	25.0	27.7	26.8	28.6	22.3	21.4	13.4	16.1	8.9	9.8	7.1	49.1	
30代	100万円未満	(157)	21.7	17.8	17.8	12.7	10.8	12.1	10.8	10.2	4.5	1.9	3.8	1.3	66.2	
	～300万円未満	(369)	34.7	21.4	21.7	20.1	19.8	15.4	11.7	8.7	6.8	2.7	2.4	1.6	52.0	
	～500万円未満	(767)	38.2	23.6	24.9	20.2	23.7	18.0	12.8	11.0	6.3	3.1	3.1	3.5	45.5	
	～1000万円未満	(964)	49.5	36.9	36.9	32.0	33.4	29.7	26.1	18.6	14.1	8.3	9.5	6.8	34.5	
	1000万円以上	(153)	60.8	52.9	52.3	49.0	49.7	40.5	46.4	41.8	23.5	19.0	16.3	16.3	20.9	
40代	100万円未満	(132)	34.1	18.2	18.2	19.7	18.2	15.2	13.6	8.3	8.3	6.1	5.3	3.0	54.5	
	～300万円未満	(439)	37.4	22.1	22.6	20.3	19.1	13.2	11.8	8.2	3.9	2.5	4.3	2.3	49.2	
	～500万円未満	(677)	45.3	27.3	26.4	26.6	22.2	19.4	14.5	11.5	6.1	4.3	5.8	3.5	40.9	
	～1000万円未満	(1143)	54.0	38.0	38.8	36.3	33.8	26.2	26.8	21.4	11.2	9.3	11.3	7.9	32.6	
	1000万円以上	(248)	63.7	47.6	47.2	46.0	41.5	41.1	37.1	27.0	22.6	16.5	19.0	14.1	20.2	

# 3. 投資信託の購入・保有に関する意識（4）



## 投資信託の特徴で知っているもの（重複回答）

(Q8)

元本の保証はない  
国内の投資信託がある  
海外の投資信託がある  
価格の変動がある  
外国の投資信託もある  
リスクが大きい  
リターンは高い  
銀行など、外資系も  
証券会社、外資系も  
購入できる  
購入できる  
リスクは高い  
関係にある  
NISAやDIA  
で投資できる  
が購入できる  
運用会社が  
運用している  
販売手数料は  
別費用がかかる  
費用がかかる  
投資信託の評  
価は  
投資信託の評  
価は  
基準額は新聞  
見ることが可  
信託協会のP  
見ることが可  
MRFは投資信  
商品ではある  
投資信託は別  
この中で知っ  
ているもの

		n=														(%)
2017年 TOTAL		(20000)	46.2	32.6	32.5	31.4	28.0	23.3	21.2	16.9	9.5	9.0	8.7	5.9	39.8	
50代	100万円未満	(111)	39.6	24.3	27.0	24.3	26.1	18.9	15.3	9.0	5.4	5.4	8.1	4.5	45.9	
	～300万円未満	(356)	43.3	26.7	26.4	28.1	24.7	17.7	14.6	11.5	10.1	6.5	8.1	5.1	44.4	
	～500万円未満	(502)	55.0	33.1	32.9	34.7	33.3	22.3	22.1	17.1	9.2	7.6	8.2	4.6	32.5	
	～1000万円未満	(914)	62.6	38.2	38.5	39.9	38.9	28.3	26.5	21.4	11.6	11.5	13.6	7.2	25.2	
	1000万円以上	(329)	71.7	48.3	48.6	51.4	45.6	36.5	36.8	27.7	17.6	15.2	18.8	10.3	16.4	
60代	100万円未満	(178)	42.7	27.5	29.8	30.3	23.6	25.8	18.0	16.9	8.4	10.7	6.7	6.7	41.6	
	～300万円未満	(829)	54.5	39.7	35.0	39.4	28.1	28.1	21.8	18.5	8.2	10.7	8.3	4.9	29.7	
	～500万円未満	(863)	60.4	43.9	41.6	44.1	37.9	34.2	30.5	24.6	12.4	13.7	11.8	7.5	26.4	
	～1000万円未満	(609)	67.5	53.5	51.7	51.4	45.3	39.6	34.8	32.3	17.7	17.4	16.1	11.3	18.1	
	1000万円以上	(164)	74.4	58.5	56.1	57.3	52.4	42.7	40.9	36.0	21.3	25.6	25.0	20.1	12.8	
70代	100万円未満	(102)	44.1	23.5	21.6	20.6	15.7	17.6	9.8	8.8	3.9	7.8	8.8	2.9	38.2	
	～300万円未満	(795)	58.9	41.1	41.3	38.6	29.4	26.9	28.2	20.9	9.3	13.5	8.8	5.4	25.3	
	～500万円未満	(830)	65.4	53.3	50.6	50.8	39.3	34.1	37.1	28.1	14.2	18.8	13.9	9.9	17.3	
	～1000万円未満	(418)	66.0	55.5	54.1	57.2	39.7	36.4	41.4	33.5	16.5	22.7	17.2	14.1	15.8	
	1000万円以上	(85)	71.8	48.2	57.6	58.8	44.7	31.8	37.6	31.8	20.0	22.4	16.5	18.8	16.5	

# 3. 投資信託の購入・保有に関する意識（5）

## 他の金融商品と比較して投資信託に特に魅力を感じる点

(Q11②)

(投資信託現在保有者・保有経験者ベース)

	n=	専門知識がなくても投資ができる	少額でも分散投資ができる	定期的に分配金が受け取れる	比較的高い利回りが期待できる	少額でも投資の面白味がある	積立投資ができる	種類が豊富で目的に応じたものが選べる	購入手続きが簡単である	分配金が自動的に再投資される商品がある	海外投資が手軽にできる	手数料が比較的安い	購入後の運用に関する情報が多い	その他	わからない・特にな	(%)
2017年	(4713)	18.3	15.2	12.8	10.7	6.9	5.6	3.4	2.4	2.3	1.4	1.4	0.3	0.2	19.0	
2016年	(4914)	17.5	15.4	13.0	10.2	6.6	4.6	3.2	2.5	2.2	1.3	1.2	0.5	0.2	21.6	
年代別	20代 (210)	14.3	29.0	4.3	4.8	12.9	9.5	2.9	1.9	2.9	2.4	1.4	0.5	0.0	13.3	
	30代 (488)	15.8	27.3	5.1	6.4	9.0	8.2	3.7	1.0	2.0	1.6	2.0	0.6	0.0	17.2	
	40代 (644)	18.6	22.4	6.7	8.2	7.6	7.3	4.2	3.0	1.4	1.7	2.3	0.2	0.3	16.1	
	50代 (783)	17.2	15.5	9.3	14.7	7.0	7.2	3.6	2.6	1.7	0.1	1.4	0.3	0.0	19.5	
	60代 (1308)	18.6	11.2	15.7	12.4	5.2	4.2	3.3	2.5	2.5	1.2	1.1	0.3	0.3	21.3	
	70代 (1280)	20.1	8.6	19.3	10.5	6.3	3.7	3.1	2.7	2.9	2.0	1.0	0.3	0.2	19.5	

## 他の金融商品と比較して投資信託に特に不満を感じる点

(Q12②)

(投資信託現在保有者・保有経験者ベース)

	n=	元本保証がない	手数料が比較的高い	仕組みや運用実績がわかりにくい	リターンが低い	専門知識がないと商品を選びにくい	株式に比べて面白さに欠ける	公社債に比べてリスクが高い	種類が多く選択に迷う	購入後の運用に関する情報が少ない	手続きがわずらわしい	クローズド期間がある	近くに取り扱っている店舗が少ない	その他	わからない・特にな	(%)
2017年	(4713)	30.2	12.1	8.1	7.2	5.5	5.0	4.4	4.4	2.7	1.9	1.8	1.0	0.3	15.6	
2016年	(4914)	32.5	10.7	7.9	6.7	5.5	4.9	4.6	3.4	2.4	1.6	1.1	0.7	0.3	14.8	
年代別	20代 (210)	17.6	9.0	8.6	11.4	5.7	6.7	2.4	6.2	2.9	6.7	1.0	2.4	0.5	19.0	
	30代 (488)	22.5	11.9	8.2	11.3	5.1	3.7	2.5	4.5	1.6	3.3	2.5	0.8	0.2	21.9	
	40代 (644)	28.0	12.0	7.9	9.5	6.7	4.8	2.5	6.8	1.2	1.9	2.2	0.3	0.2	16.1	
	50代 (783)	32.7	11.4	6.6	6.0	6.1	4.0	4.1	4.1	2.4	1.7	1.7	0.9	0.1	18.3	
	60代 (1308)	32.0	14.5	7.0	5.9	4.5	4.7	5.0	4.1	2.8	1.8	2.2	1.0	0.4	14.1	
	70代 (1280)	32.9	10.9	10.0	5.8	5.6	6.2	5.9	3.4	3.7	0.8	1.0	1.3	0.5	12.2	

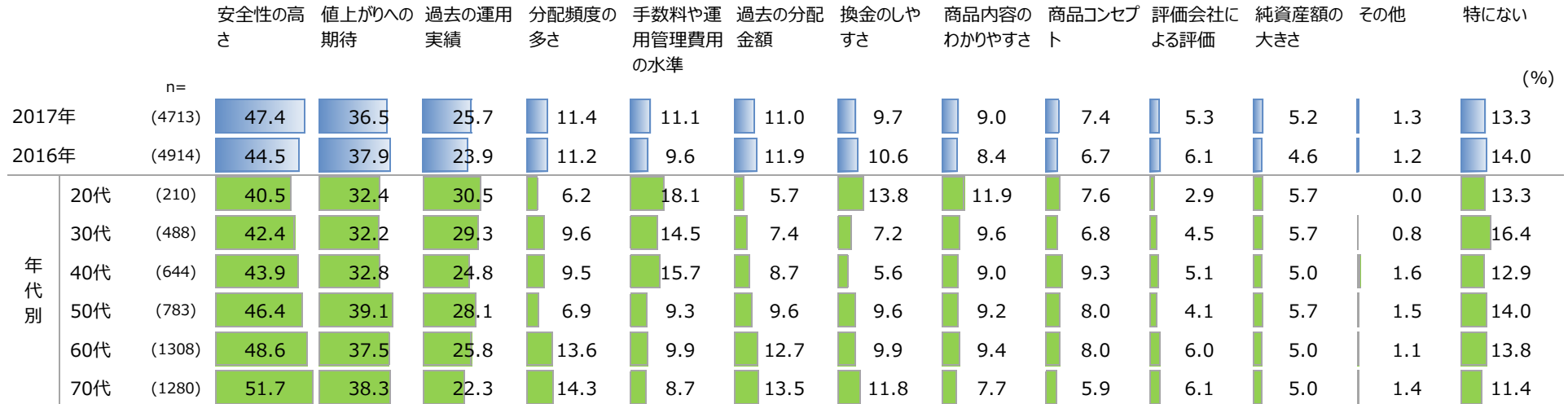
- 他の金融商品と比べ投信に特に魅力を感じる点は、「専門知識がなくても投資できる」(18.3%)、「少額でも分散投資できる」(15.2%)、「定期的に分配金が受け取れる」(12.8%)が上位。この傾向は前回と変わらない。また若年層ほど「少額から分散投資できる」「少額でも面白味がある」「積立投資できる」が高く、高齢層ほど「専門知識がなくても投資ができる」「定期的に分配金が受け取れる」が高くなる。
- 特に不満な点では「元本保証がない」(30.2%)が突出。若干の減少はあるが前回同様の傾向。また高齢層ほど「元本保証がない」「公社債に比べてリスクが高い」が増す。

# 3. 投資信託の購入・保有に関する意識（6）

## 投資信託の購入の際に重視した点（重複回答）

(Q7①)

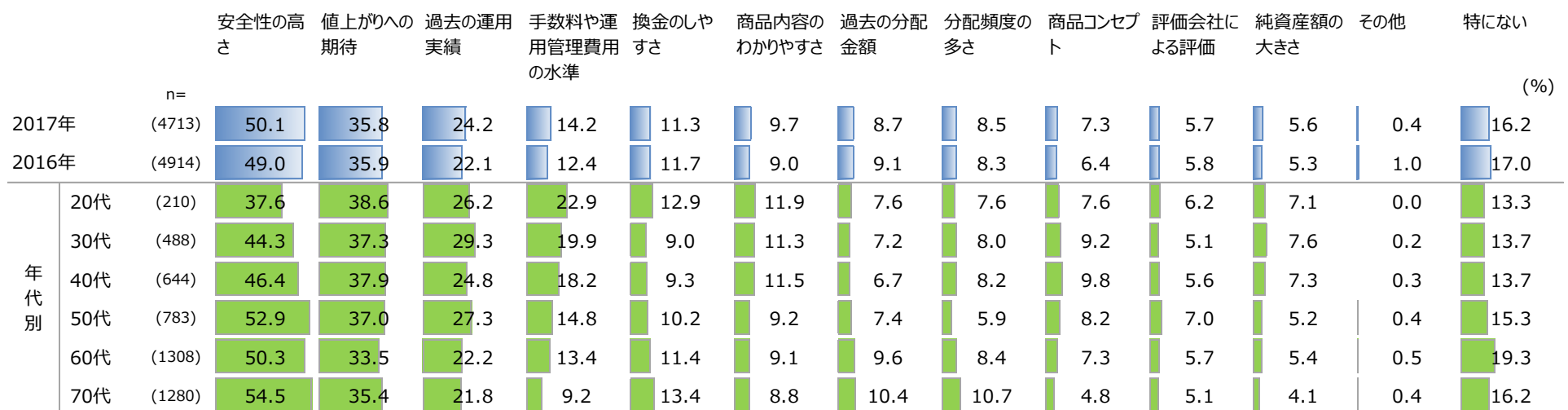
(投資信託現在保有者・保有経験者ベース)



## 投資信託の購入の際に今後重視したい点（重複回答）

(Q7②)

(投資信託現在保有者・保有経験者ベース)



- 投資信託の購入の際に重視した点と今後重視したい点については、ともに「安全性の高さ」(順に47.4%、50.1%)が最も高く、次いで「値上がり期待」(36.5%、35.8%)、「過去の運用実績」(25.7%、24.2%)が上位となる。また、「安全性の高さ」を重視した割合は、前回より2.9ポイント増加。
- 購入の際の重視点を年代別でみると、高齢層ほど「安全性の高さ」「過去の分配金額」「分配頻度の多さ」が高く、若年層ほど「過去の運用実績」「手数料などの水準」が高い。(「手数料などの水準」は今後重視したい点でも若年層ほど高くなる。)

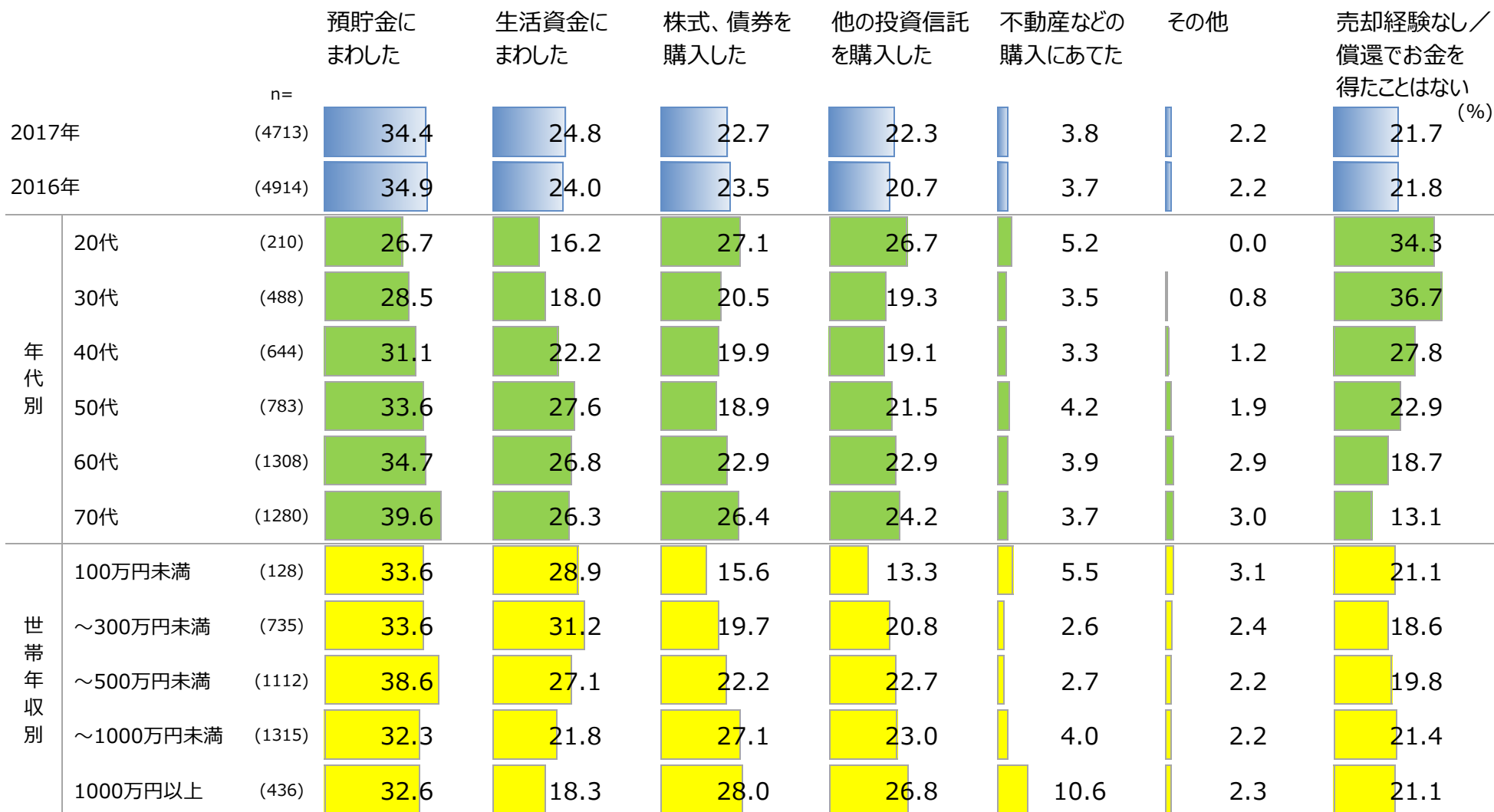


### 3. 投資信託の購入・保有に関する意識（7）

#### 投資信託の償還・売却で得た資金の流出先（重複回答）

(Q10)

(投資信託現在保有者・保有経験者ベース)



- 投資信託の償還・売却資金は「預貯金」(34.4%)に回されることが最も多く、「生活資金」(24.8%)がそれに続き、「株式・債券の購入」(22.7%)、「他の投資信託の購入」(22.3%)に使われることよりも多い。なおこの傾向は前回と大きく変わらない。
- 年代別では、高齢層ほど「預貯金」「生活資金」に回されることが多くなる様子。
- 世帯年収別で見ると、年収が高い層ほど「株式・債券の購入」「他の投信購入」が多く、反対に年収が低い層ほど「生活資金」に回す割合が多くなる。

# 3. 投資信託の購入・保有に関する意識（8）



## 投資信託の償還・売却で得た資金の流出先（重複回答）

(Q10)

(投資信託現在保有者・保有経験者ベース)

		n=	預貯金に まわした	生活資金に まわした	株式、債券を 購入した	他の投資信託 を購入した	不動産などの 購入にあてた	その他	売却経験なし/ 償還でお金を 得たことはない (%)	
2017年 TOTAL		(4713)	34.4	24.8	22.7	22.3	3.8	2.2	21.7	
年代×世帯年収別	20代	100万円未満	(9)	44.4	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0	33.3
		～300万円未満	(25)	20.0	12.0	28.0	28.0	0.0	0.0	32.0
		～500万円未満	(63)	25.4	22.2	22.2	31.7	3.2	0.0	33.3
		～1000万円未満	(63)	25.4	17.5	36.5	27.0	11.1	0.0	23.8
		1000万円以上	(17)	23.5	5.9	23.5	23.5	11.8	0.0	52.9
	30代	100万円未満	(9)	11.1	0.0	22.2	22.2	0.0	11.1	55.6
		～300万円未満	(40)	40.0	25.0	7.5	12.5	0.0	0.0	32.5
		～500万円未満	(98)	28.6	21.4	15.3	20.4	3.1	0.0	36.7
		～1000万円未満	(193)	28.5	15.5	28.0	21.8	4.1	1.0	35.2
		1000万円以上	(56)	25.0	16.1	26.8	26.8	7.1	1.8	28.6
	40代	100万円未満	(16)	50.0	25.0	12.5	25.0	6.3	0.0	18.8
		～300万円未満	(23)	30.4	30.4	8.7	8.7	0.0	0.0	39.1
		～500万円未満	(98)	33.7	23.5	16.3	11.2	0.0	1.0	29.6
		～1000万円未満	(265)	29.4	20.0	21.9	18.1	3.0	1.9	26.0
		1000万円以上	(96)	30.2	22.9	27.1	29.2	9.4	2.1	21.9



### 3. 投資信託の購入・保有に関する意識（9）

#### 投資信託の償還・売却で得た資金の流出先（重複回答）

(Q10)

(投資信託現在保有者・保有経験者ベース)

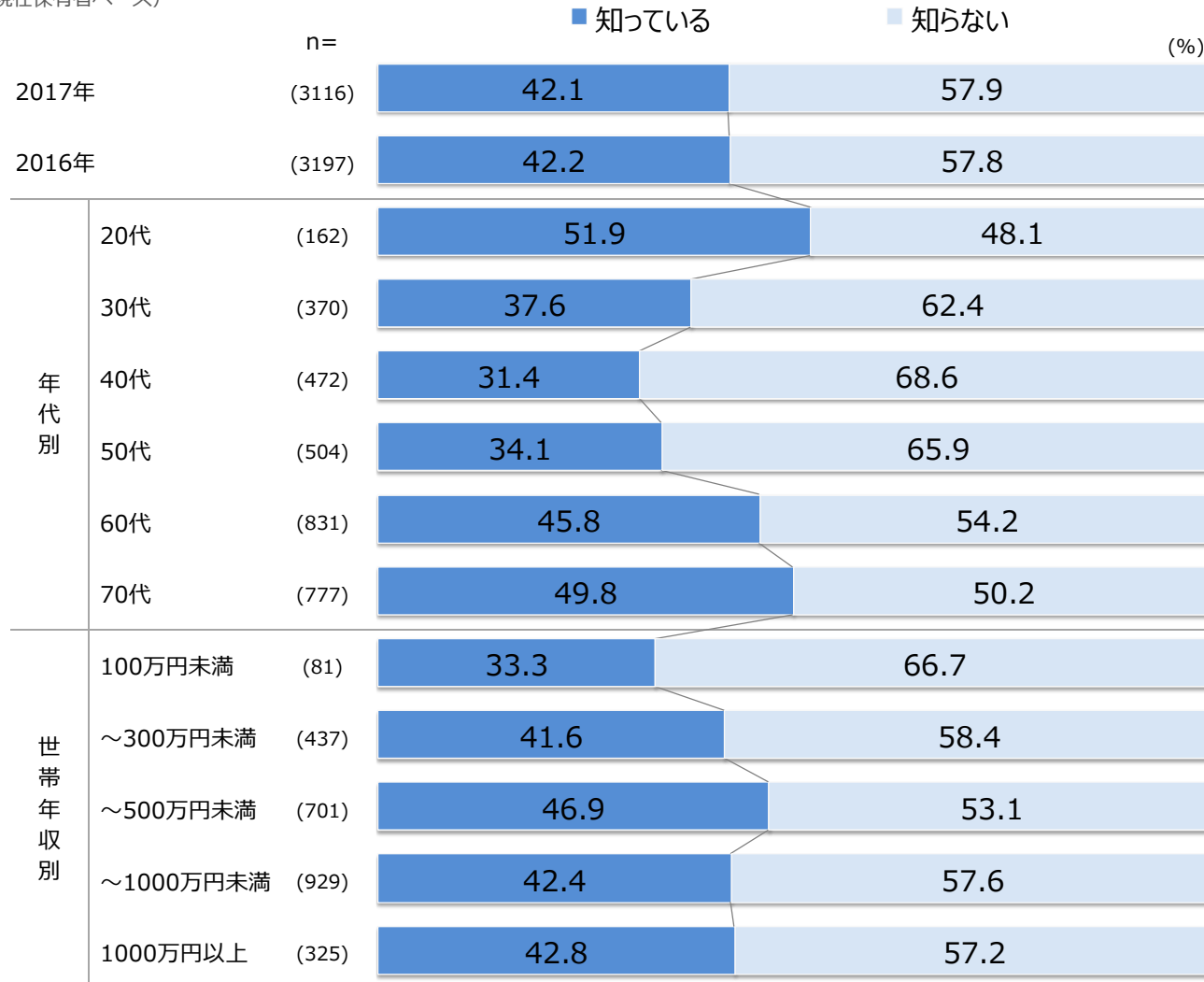
		n=	預貯金に まわした	生活資金に まわした	株式、債券を 購入した	他の投資信託 を購入した	不動産などの 購入にあてた	その他	売却経験なし/ 償還でお金を 得たことはない (%)	
2017年 TOTAL		(4713)	34.4	24.8	22.7	22.3	3.8	2.2	21.7	
年代×世帯年収別	50代	100万円未満	(23)	39.1	43.5	13.0	8.7	13.0	4.3	8.7
		～300万円未満	(69)	36.2	29.0	17.4	17.4	5.8	1.4	26.1
		～500万円未満	(101)	32.7	35.6	13.9	26.7	3.0	2.0	16.8
		～1000万円未満	(273)	32.2	25.3	24.9	20.9	3.7	1.8	22.7
		1000万円以上	(129)	34.1	23.3	18.6	22.5	7.0	2.3	24.0
	60代	100万円未満	(40)	32.5	32.5	15.0	15.0	5.0	5.0	17.5
		～300万円未満	(253)	34.0	36.0	17.0	19.0	2.0	2.4	17.0
		～500万円未満	(325)	36.9	27.4	22.2	20.3	3.4	1.5	21.8
		～1000万円未満	(289)	31.1	24.9	28.7	26.6	3.5	3.8	15.2
		1000万円以上	(83)	34.9	10.8	41.0	32.5	13.3	2.4	14.5
	70代	100万円未満	(31)	25.8	22.6	19.4	9.7	3.2	0.0	22.6
		～300万円未満	(325)	33.2	30.2	24.0	24.3	3.1	3.4	14.2
		～500万円未満	(427)	46.6	27.6	27.2	25.3	2.6	3.7	10.8
		～1000万円未満	(232)	42.2	22.4	30.6	26.3	3.9	2.6	9.9
		1000万円以上	(55)	40.0	16.4	34.5	25.5	20.0	3.6	5.5

### 3. 投資信託の購入・保有に関する意識（10）

#### トータルリターン通知制度の認知状況

(Q22)

(投資信託現在保有者ベース)

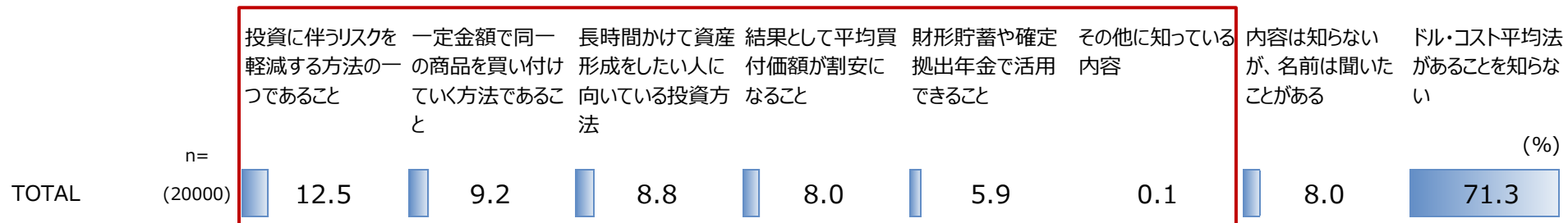


- 2014年12月から実施の「投資信託の投資期間全体の損益（トータルリターン）通知制度」の、現在投資信託保有層での認知率は42.1%で、前回と同水準。
- 年代別では20代の認知率が51.9%と最も高い。次いで70代(49.8%)、60代(45.8%)が高い。

# 4. 投資信託の積立投資の認知・利用状況（1）

## ドル・コスト平均法の認知状況

(Q16)



「ドル・コスト平均法」の内容認知率20.7%(赤枠内のいずれかの特徴を知っている人)

年代別	サンプル数 (n)	投資に伴うリスクを軽減する方法の一つであること (%)	一定金額で同一の商品を買い付けていく方法であること (%)	長期間かけて資産形成をしたい人に向いている投資方法 (%)	結果として平均買付価額が割安になること (%)	財形貯蓄や確定拠出年金で活用できること (%)	その他に知っている内容 (%)	内容は知らないが、名前は聞いたことがある (%)	ドル・コスト平均法があることを知らない (%)
20代	(2747)	10.2	6.7	7.0	5.4	4.3	0.0	6.7	77.4
30代	(3439)	12.2	8.3	8.1	6.7	5.7	0.1	7.0	74.4
40代	(3898)	12.5	9.1	8.6	7.6	6.5	0.1	7.2	72.9
50代	(3230)	12.1	9.8	8.6	8.7	6.7	0.1	7.8	71.7
60代	(3764)	13.5	10.5	9.5	8.8	5.8	0.2	9.0	67.9
70代	(2922)	14.4	10.3	11.2	10.6	6.1	0.2	10.1	63.5

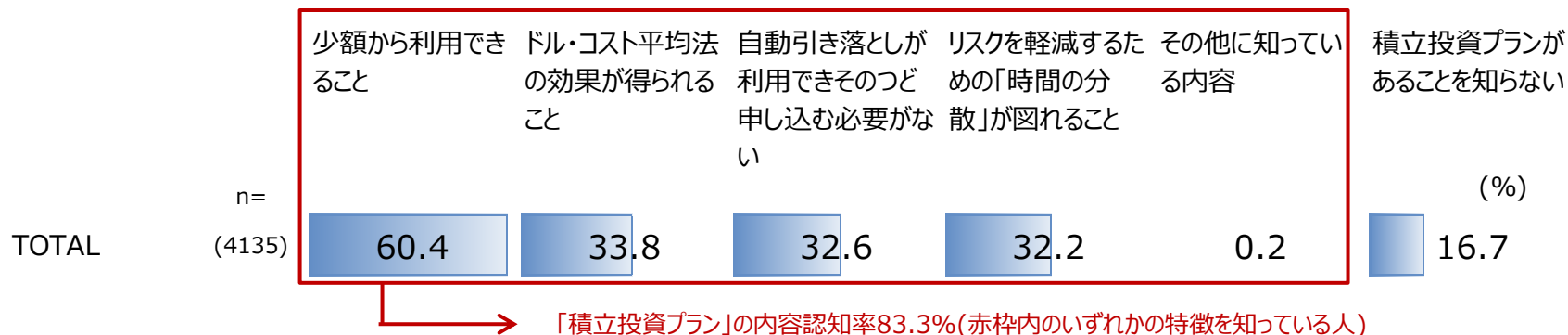
- ドル・コスト平均法は存在自体の認知度が低く、「あることを知らない」人が71.3%にのぼる。内容では、「投資のリスク軽減法の一つ」が12.5%で最も認知度が高い。
- 年代が上がるにつれ、ドル・コスト平均法の認知度は増加。

# 4. 投資信託の積立投資の認知・利用状況（2）

## 積立投資プランの認知状況

(Q17)

(ドル・コスト平均法の内容認知者ベース)



年代別	人数 (n)	少額から利用できること (%)	ドル・コスト平均法の効果が得られること (%)	自動引き落としが利用できること (%)	リスクを軽減するための「時間の分散」が図れること (%)	その他に知っている内容 (%)	積立投資プランがあることを知らない (%)
20代	(438)	52.3	36.1	30.1	31.7	0.7	20.1
30代	(638)	61.9	37.1	32.4	32.6	0.0	15.4
40代	(772)	59.7	35.0	32.6	34.2	0.1	17.1
50代	(659)	60.7	32.5	35.5	31.4	0.0	17.5
60代	(861)	62.8	31.8	32.5	33.6	0.2	15.9
70代	(767)	61.7	31.7	31.7	29.3	0.3	15.8

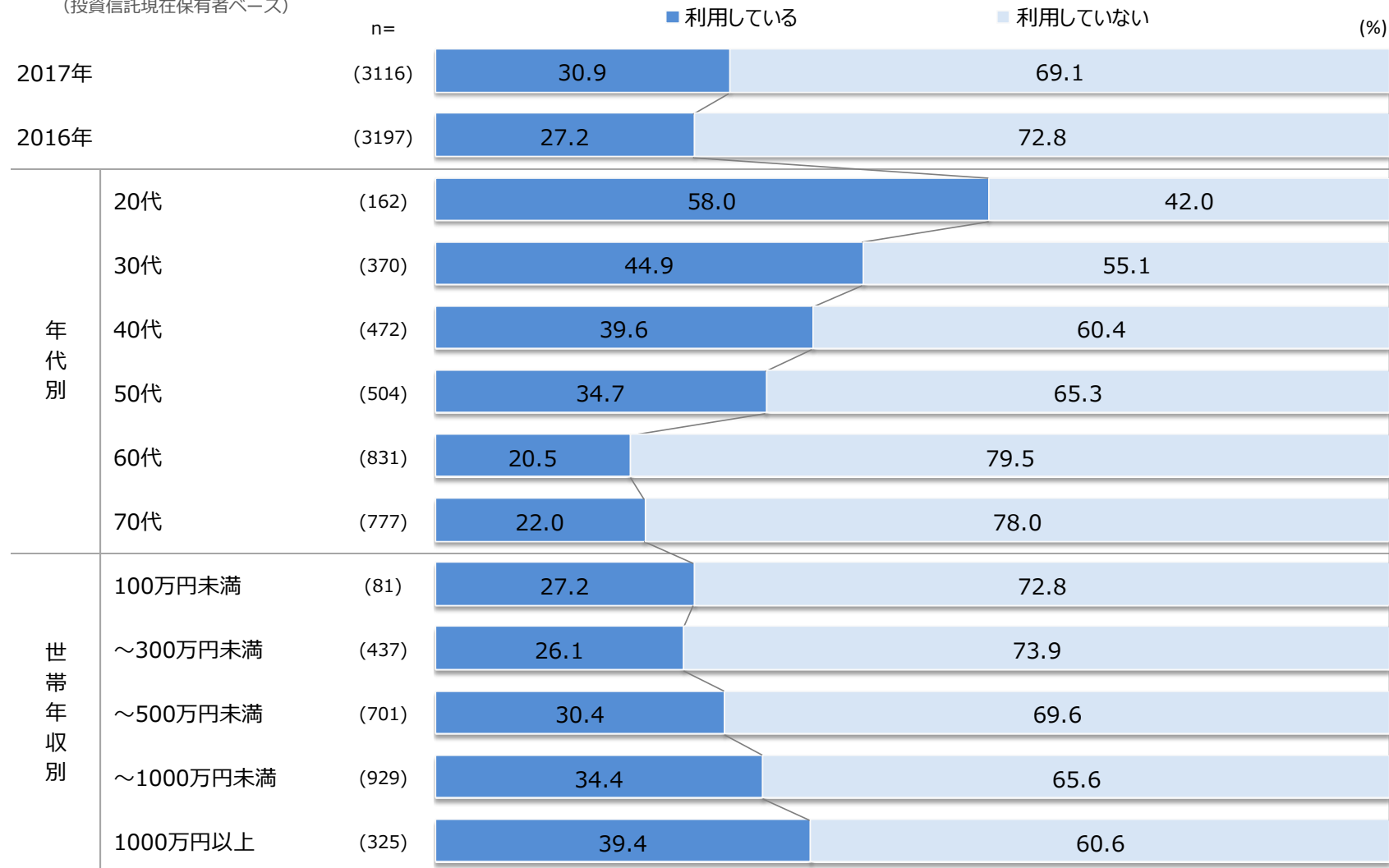
- 「ドル・コスト平均法」を知っている人における「積立投資プラン」の認知内容は、「少額から利用できること」(60.4%)が最も高い。

# 4. 投資信託の積立投資の認知・利用状況（3）

## 投資信託の積立投資の利用状況

(Q15)

(投資信託現在保有者ベース)



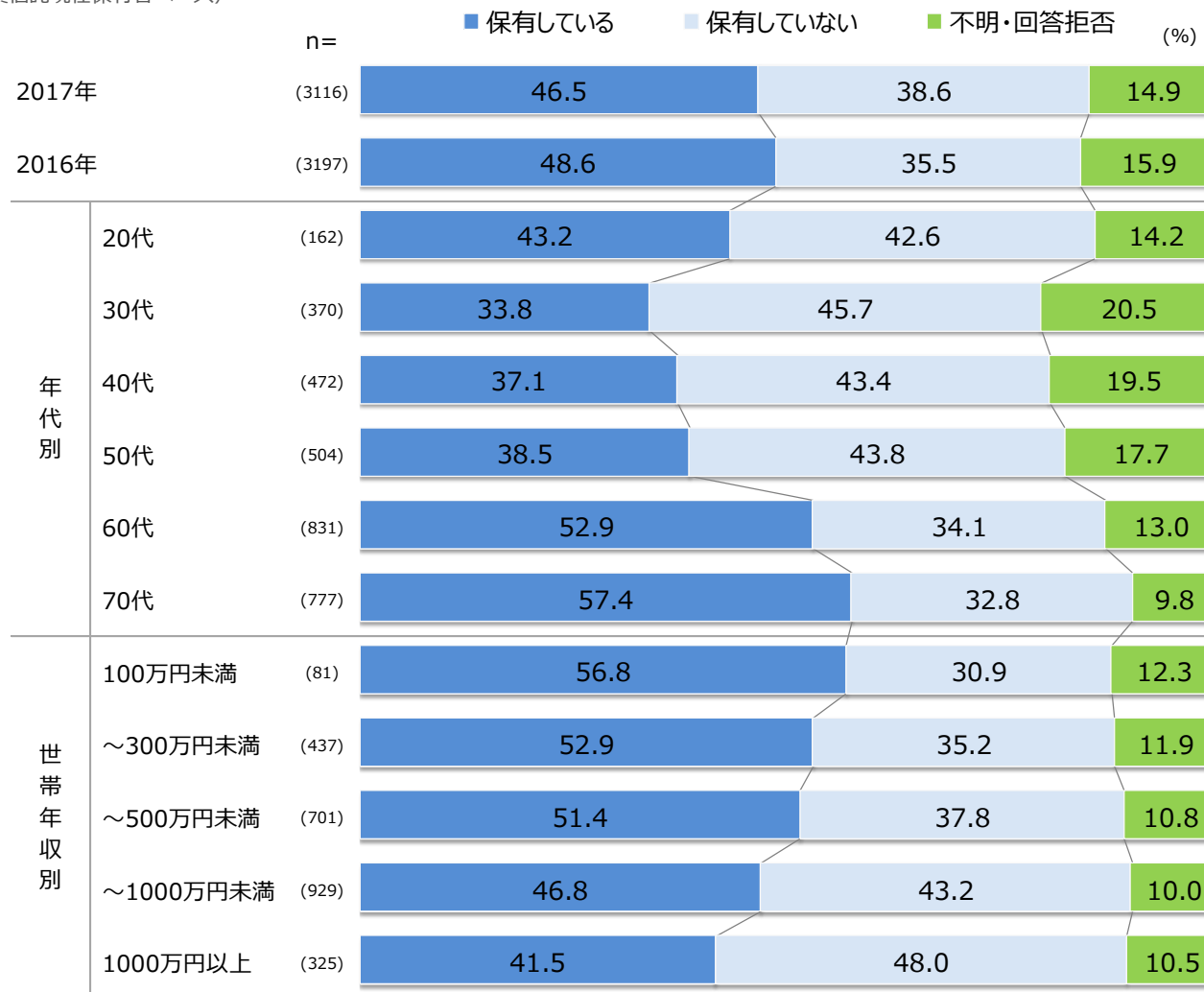
- 現在投資信託保有層の積立投資利用率は30.9%。前回(27.2%)に比べ3.7ポイント増加。
- 年代別では年代が若いほど利用率は高く、20代では58.0%と半数以上にのぼる。
- 世帯年収別では、年収が高い層ほど利用率は増加する傾向。

# 5. 毎月分配型投資信託についての意識（1）

## 毎月分配型投資信託の保有状況

(Q18)

(投資信託現在保有者ベース)



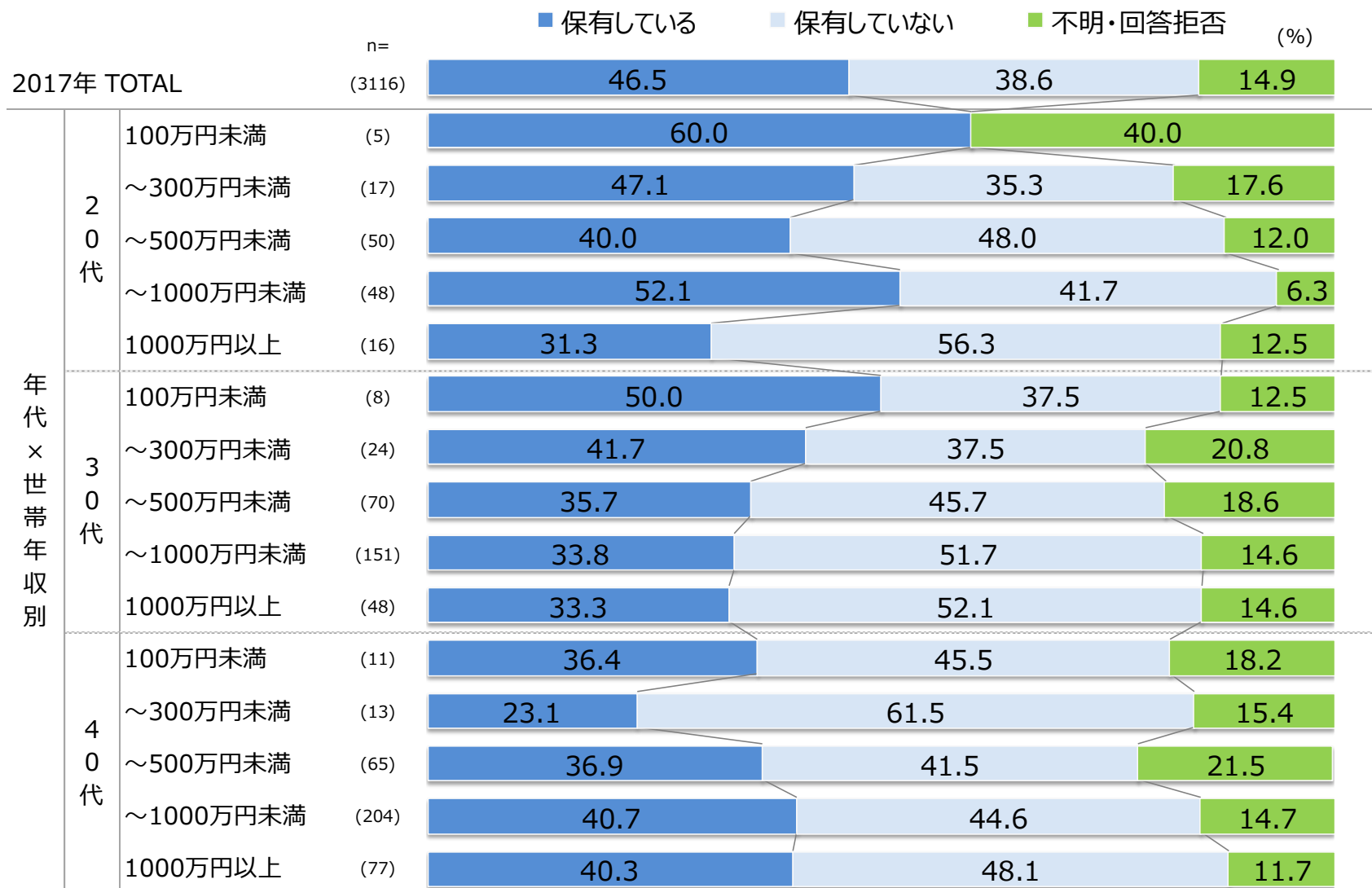
- 投資信託現在保有者における毎月分配型投資信託の保有率は46.5%。前回(48.6%)より僅かに減少。
- 年代別では60代以上で保有率が50%を越え高い。

# 5. 毎月分配型投資信託についての意識（2）

## 毎月分配型投資信託の保有状況

(Q18)

(投資信託現在保有者ベース)

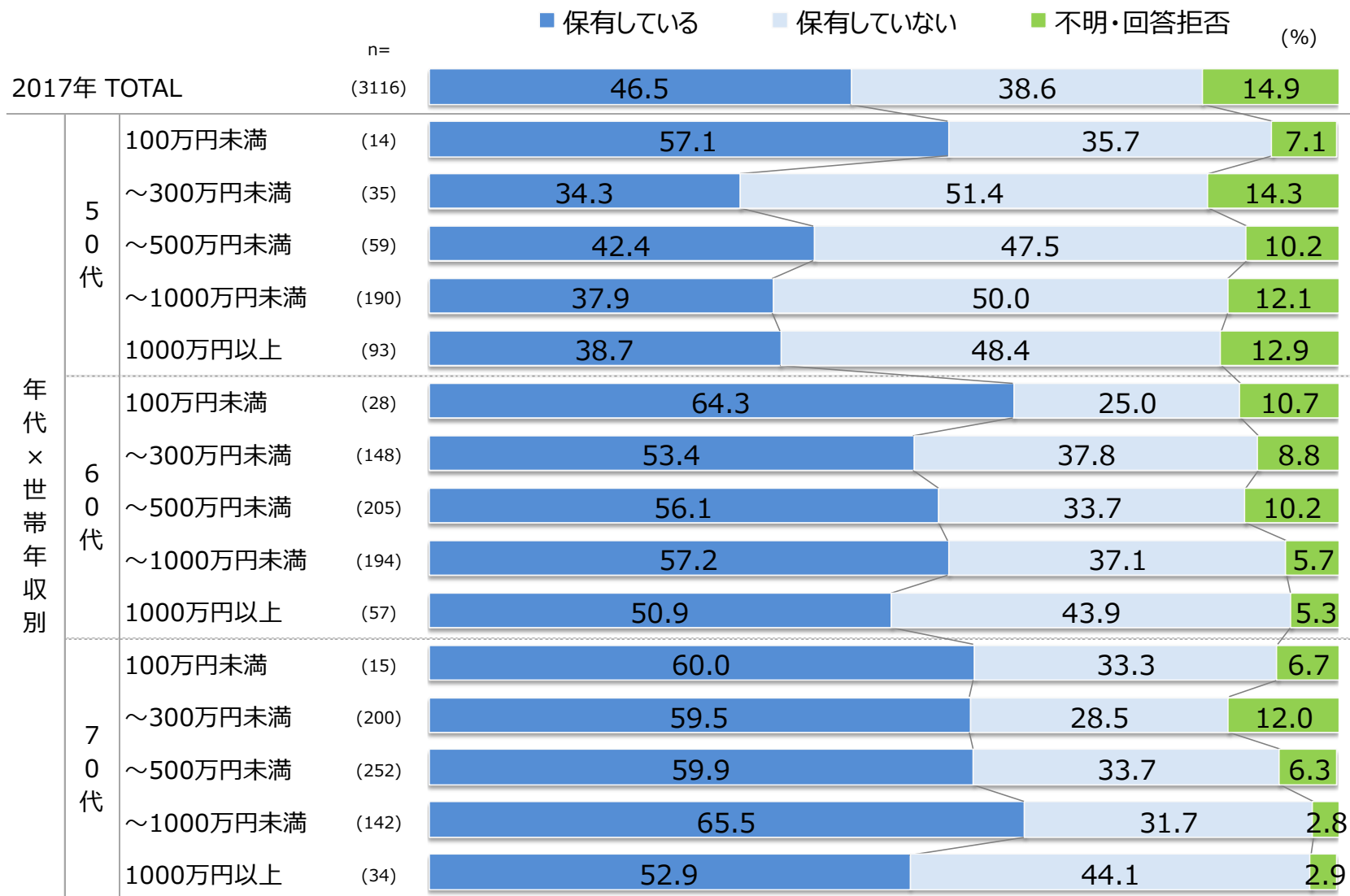


# 5. 毎月分配型投資信託についての意識（3）

## 毎月分配型投資信託の保有状況

(Q18)

(投資信託現在保有者ベース)



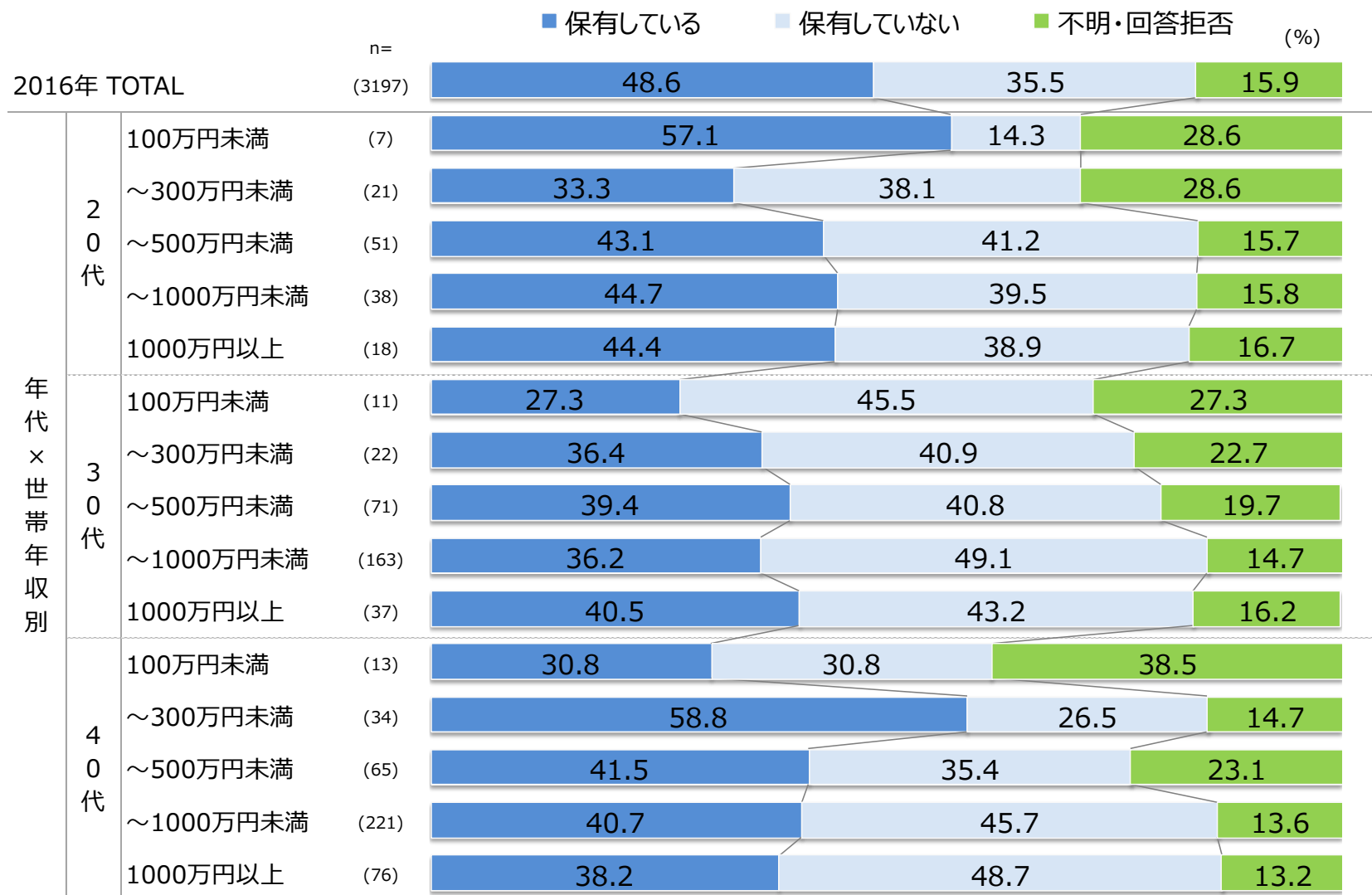


# 5. 毎月分配型投資信託についての意識（4）

## 毎月分配型投資信託の保有状況（参考：2016年）

(Q18)

(投資信託現在保有者ベース)

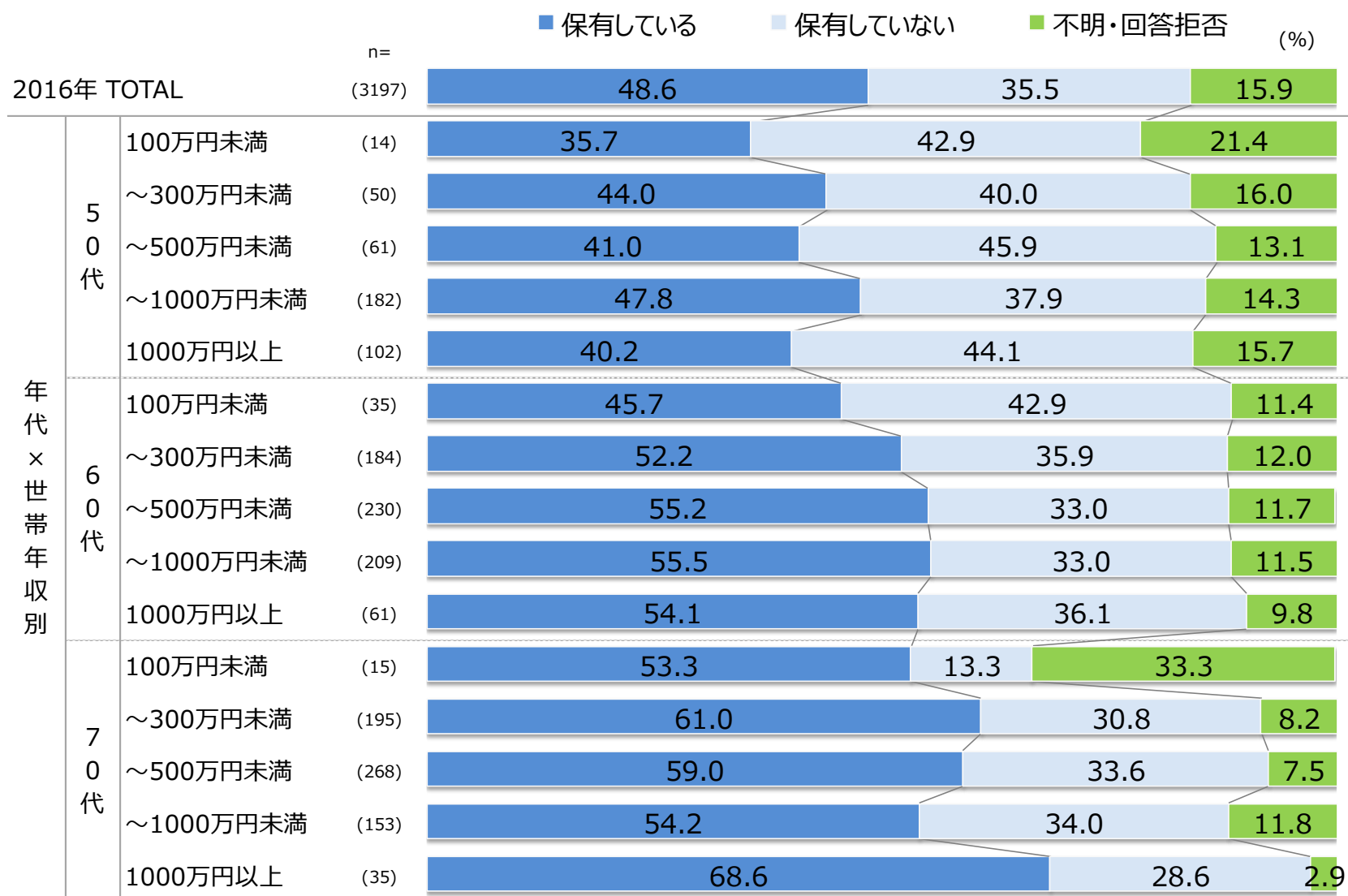


# 5. 毎月分配型投資信託についての意識（5）

## 毎月分配型投資信託の保有状況（参考：2016年）

(Q18)

(投資信託現在保有者ベース)

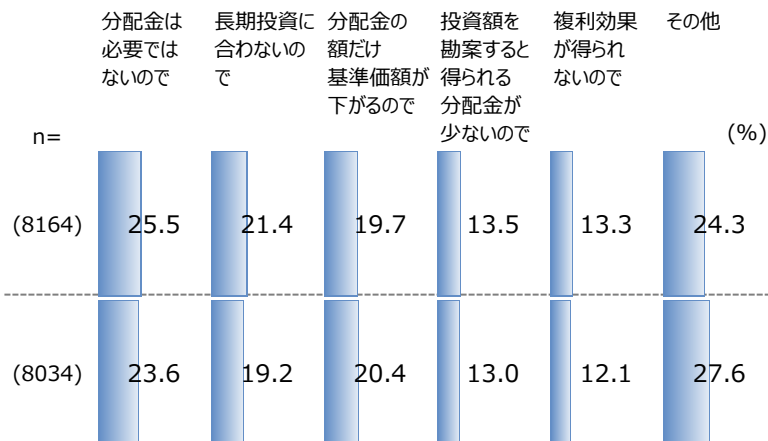


# 5. 毎月分配型投資信託についての意識（6）

## 毎月分配型投資信託についての魅力の有無とその理由（重複回答）

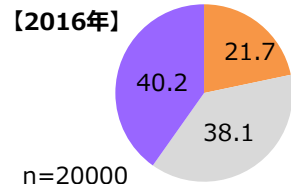
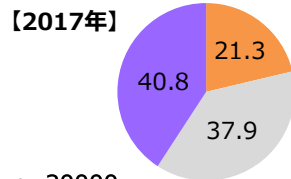
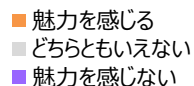
(Q19・Q20・Q21)

### 【魅力を感じない理由】

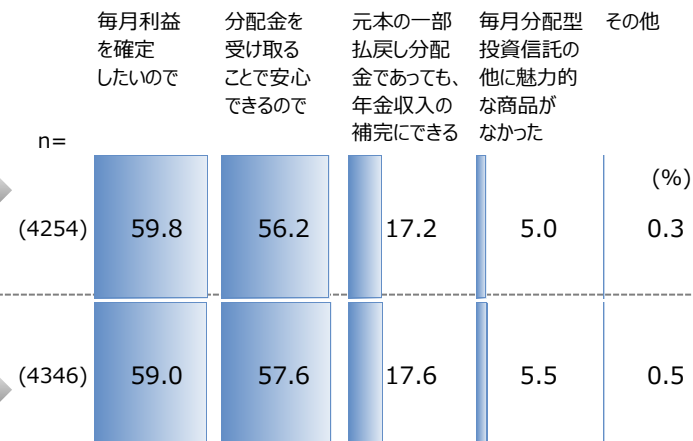


(全体ベース)

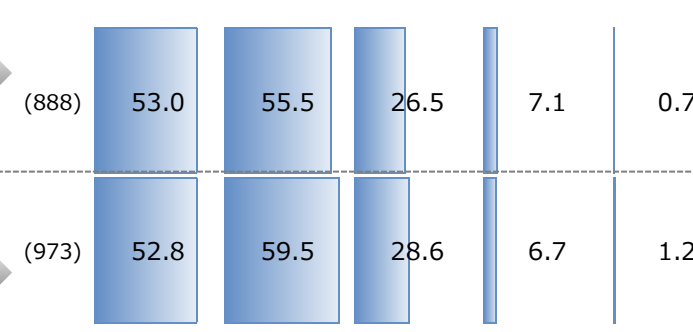
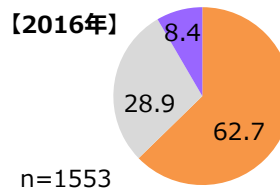
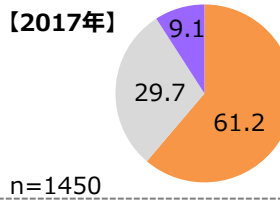
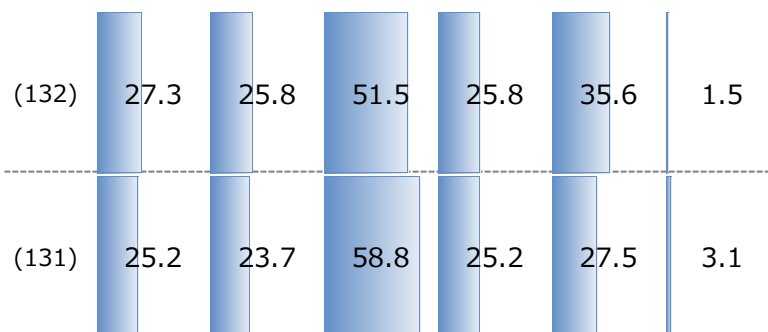
毎月分配型投資信託に…



### 【魅力を感じる理由】



(毎月分配型投資信託現在保有者ベース)



#### <全体>

- 毎月分配型投資信託に魅力を感じる人は21.3%に留まり、魅力を感じない人の方が40.8%と多くなる。いずれも前回と同水準。
- 非魅力理由は、前回同様に、目立って高い項目はなく分散傾向。「分配金は必要ない」(25.5%)、「長期投資に合わない」(21.4%)、「分配金の額だけ基準価額が下がる」(19.7%)が上位にあがる。また魅力理由は、「毎月利益を確定したい」(59.8%)、「分配金を受け取ることで安心」(56.2%)が前回同様高い。

#### <分配型投資信託現在保有者>

- 魅力を感じる人は61.2%と前回と同水準。非魅力理由では「分配金の額だけ基準価額が下がるので」が51.5%と突出。

# 5. 毎月分配型投資信託についての意識（7）

## 毎月分配型投資信託についての魅力の有無とその理由（重複回答） 2017年

(Q19・Q20・Q21)

### 【魅力を感じない理由】

(全体ベース)

### 【魅力を感じる理由】

毎月分配型投資信託に…

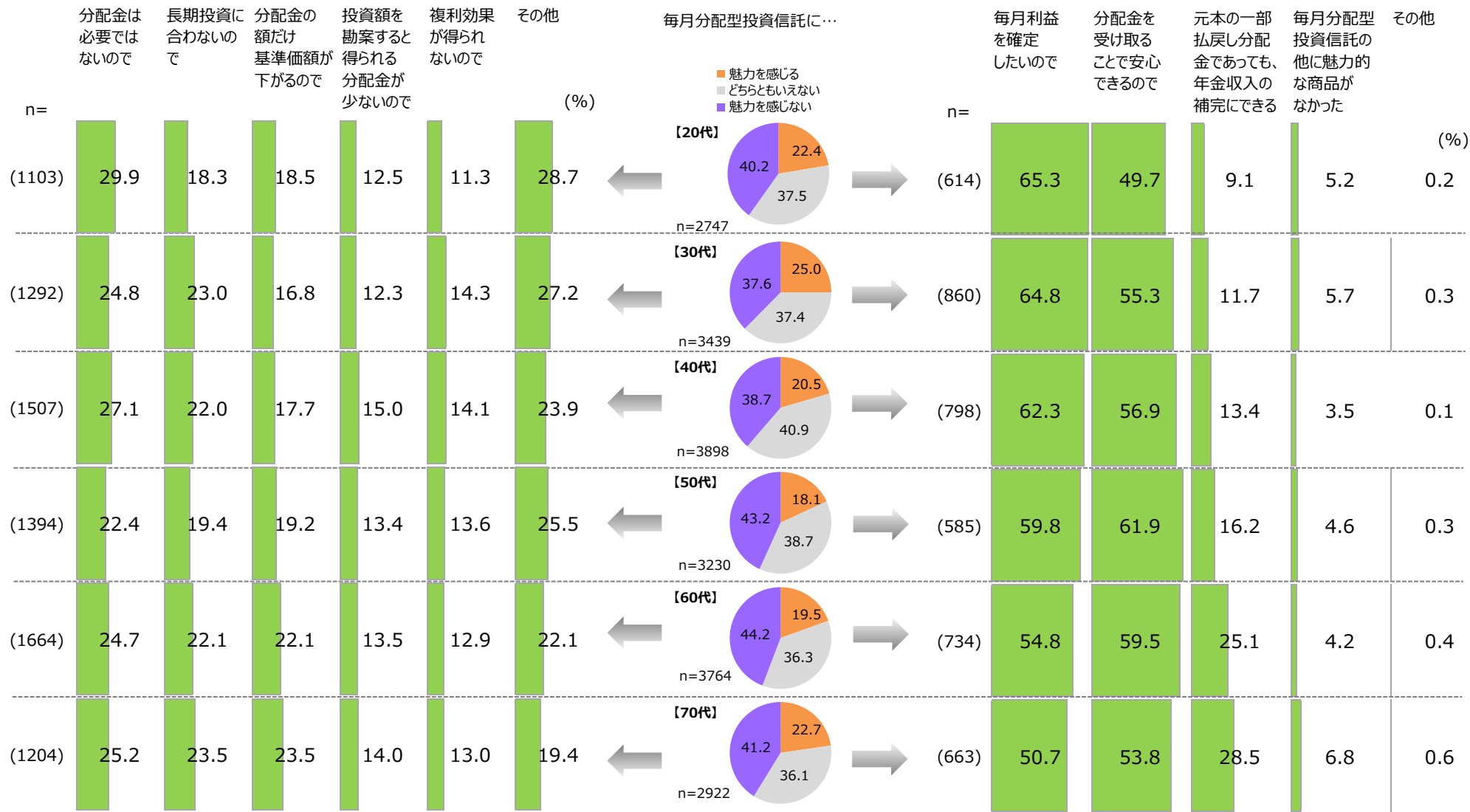
毎月利益を確定したいので

分配金を受け取ることで安心できるので

元本の一部払戻し分配金であっても、年金収入の補完にできる

毎月分配型投資信託の他に魅力的な商品がなかった

その他



- 非魅力理由は、年代別で大きな差はみられない。
- 魅力理由は、年代が上がるにつれ「元本の一部払戻し分配金であっても、年金収入の補完にできる」が増加し、60代以上では4人に1人が魅力を感じている。

# 5. 毎月分配型投資信託についての意識（8）

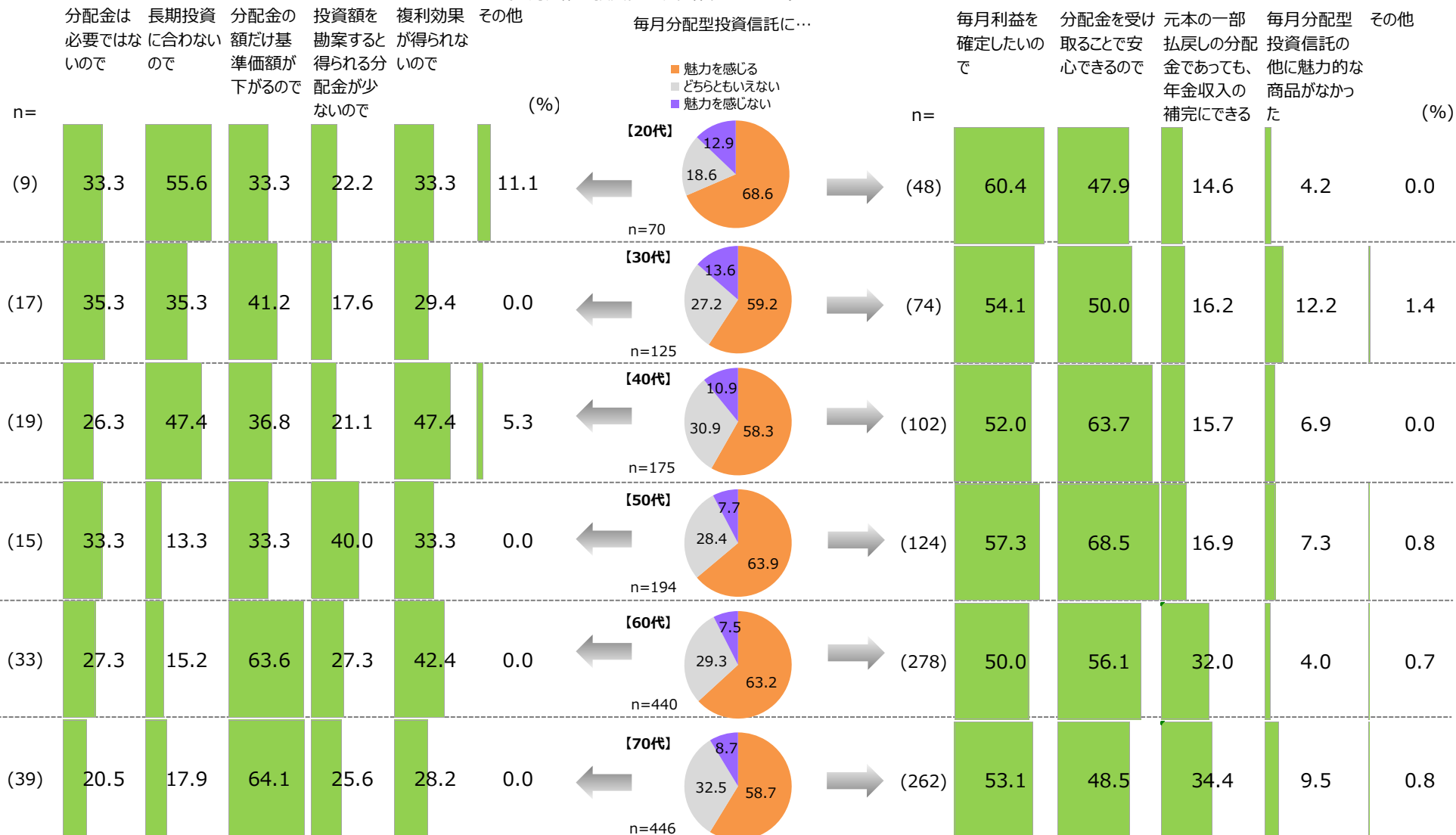
## 毎月分配型投資信託についての魅力の有無とその理由（重複回答） 2017年

(Q19・Q20・Q21)

### 【魅力を感じない理由】

(毎月分配型投資信託現在保有者ベース)

### 【魅力を感じる理由】



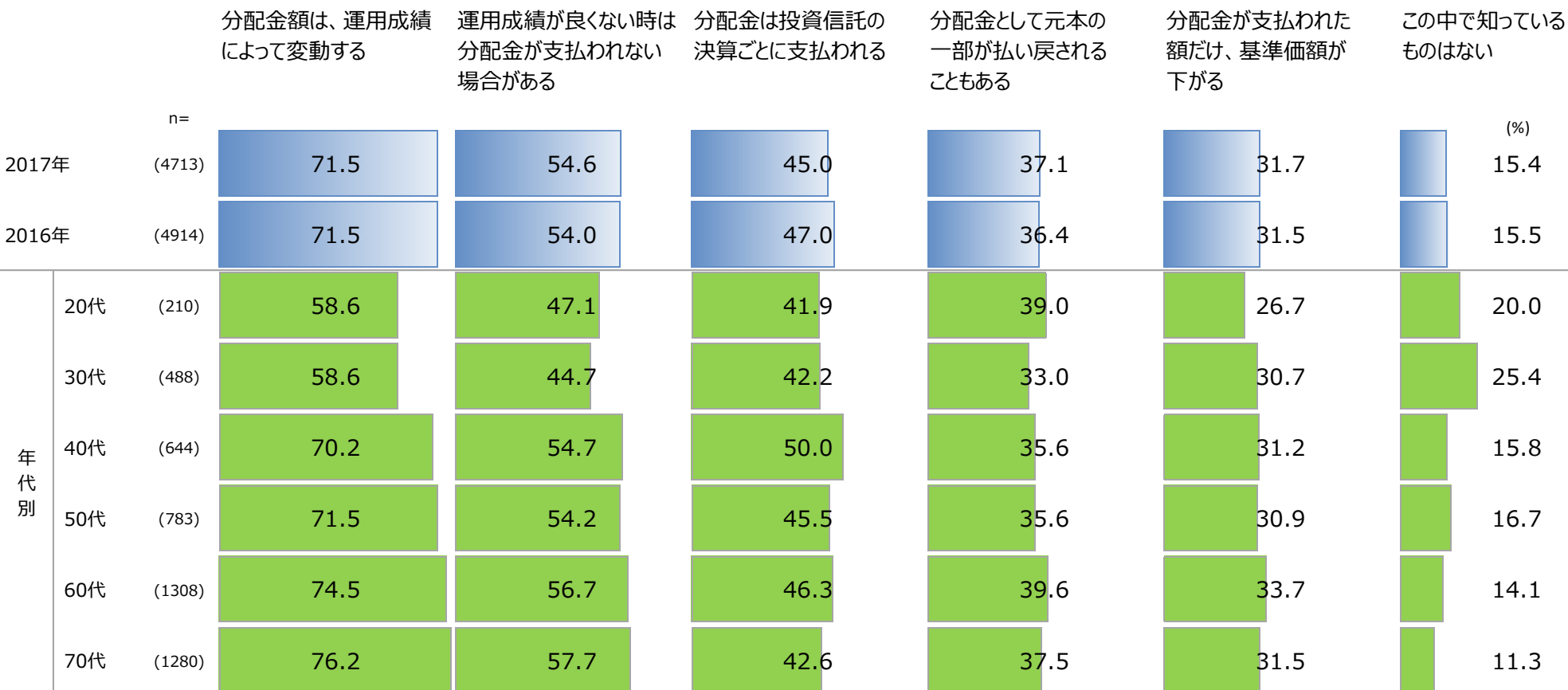
- 毎月分配型投資信託保有者では、どの年代でも60~70%程度が当該商品に対して魅力を感じている。
- 魅力理由では、40~60代で「分配金を受け取ることで安心できる」が最も高い。また年代が上がるにつれ「元本の一部払戻し分配金であっても年金収入の補完にできる」が増加し、60代以上では3人に1人が魅力に感じている。

# 5. 毎月分配型投資信託についての意識 (9)

## 投資信託の「分配金」の特徴で知っているもの (重複回答)

(Q9)

(投資信託現在保有者・保有経験者ベース)



- 投資信託の分配金の特徴認知は前回とほとんど差がみられない。  
「運用成績によって変動する」が71.5%と大半の人に認知されている。  
次いで「運用成績が良くない時は支払われない場合がある」(54.6%)、「投資信託の決算ごとに支払われる」(45.0%)の順に高い。
- 年代別でみると、「運用成績で変動」「支払われない場合がある」は上の年代ほど高い。

# 6.投資信託の非購入理由

## 投資信託の非購入理由（重複回答）

(Q24)

※TOTALで5pt.以上を抜粋

(投資信託保有未経験者ベース)

	n=	そ も 興 味 が な い	投 資 の 知 識 が な い	投 信 の 仕 組 み が 分 か ら な い	損 を し そ う で 怖 い	ま ま と 金 が な い	元 本 が 保 証 さ れ な い	手 数 料 が 高 い	少 額 で は づ ら い	な ん と な か つ た 機 会 が な か つ た	富 裕 な 層 の 実 施 が な い	商 品 種 類 が 多 く 選 択 し な い	値 と 動 き に あ ら な い 懸 念	自 信 に あ ら な い	間 余 裕 な 投 資 時 間	株 上 り が 激 し い 下 値 が あ る
2017年	(15287)	46.4	38.3	24.4	22.5	19.5	19.4	10.6	8.4	8.0	6.0	5.7	5.6	5.5	5.4	
2016年	(15086)	48.0	36.5	23.4	21.6	19.1	19.8	9.7	8.6	8.3	5.5	5.8	6.0	5.5	5.7	
年代別	20代 (2537)	48.9	38.4	25.4	19.7	14.9	8.7	9.3	7.3	9.7	4.9	5.1	3.9	6.0	3.2	
	30代 (2951)	42.1	46.3	29.7	26.7	19.5	16.4	10.5	8.6	10.8	6.9	5.9	6.4	6.9	4.7	
	40代 (3254)	44.1	39.8	25.9	24.0	22.1	19.6	11.6	9.1	7.9	7.1	6.3	6.5	5.9	5.6	
	50代 (2447)	47.0	35.8	22.4	22.2	21.5	25.3	11.5	8.5	6.4	5.8	4.6	5.2	5.4	6.1	
	60代 (2456)	50.6	33.9	20.5	20.9	18.9	25.0	10.6	7.7	5.7	5.4	5.7	6.3	4.2	6.7	
	70代 (1642)	47.6	31.7	18.7	18.8	20.0	23.4	9.5	9.5	6.2	5.3	6.6	4.6	3.2	6.9	

- 投資信託の非購入理由は、「興味がない」(46.4%)が最も高い。前回と大きくは変わらないが、「興味がない」は微減、「投資の知識がない」は微増。
- 年代別では、「投資知識がない」「投信の仕組みが分からない」「損しそうで怖い」「なんとなく機会がなかった」は30代でピークとなり、年代の上昇とともに減少。

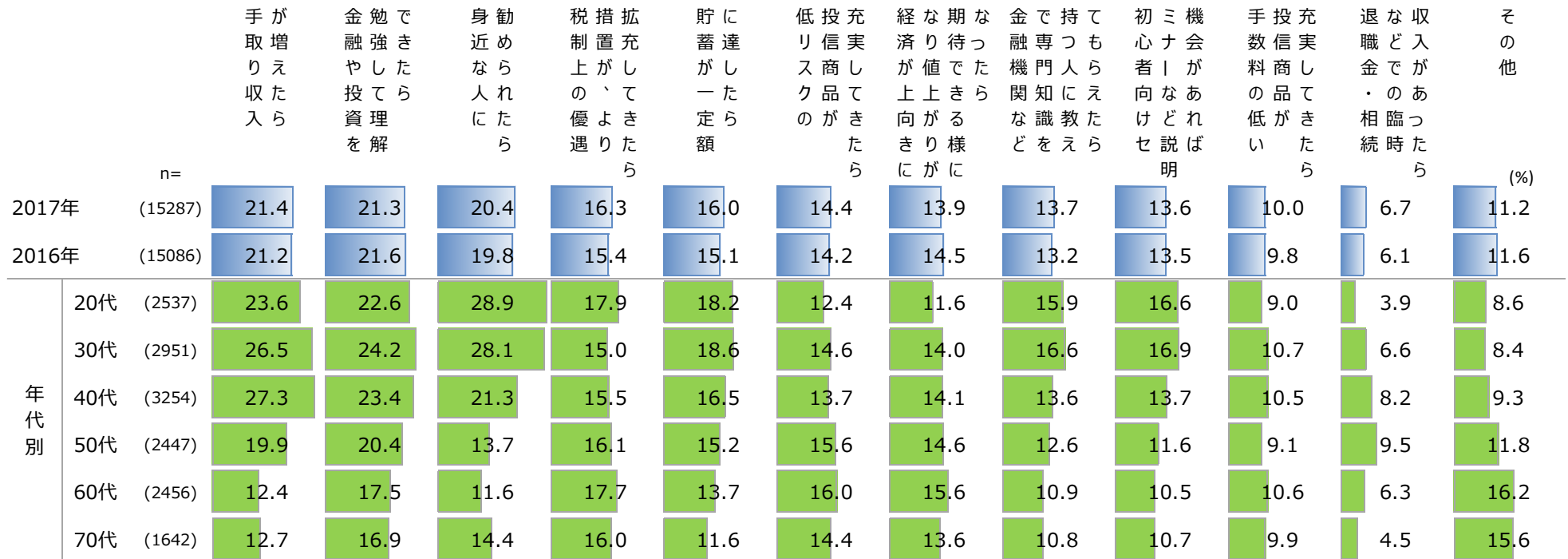
# 7.投資信託購入検討のきっかけ

## 購入検討のきっかけ（重複回答）

(Q25)

※TOTALで5pt.以上を抜粋

(投資信託保有未経験者ベース)



- 投資信託購入検討のきっかけは、前回同様に目立って高い項目はみられず分散傾向。
- 年代別では、40代以下で「手取り増加」「金融や投資を理解できたら」「身近な人に勧められたら」が高くなる。  
また若年層ほど「貯蓄が一定額に達したら」「専門家に教えてもらえたら」「初心者セミナーなどがあれば」が高くなる傾向。

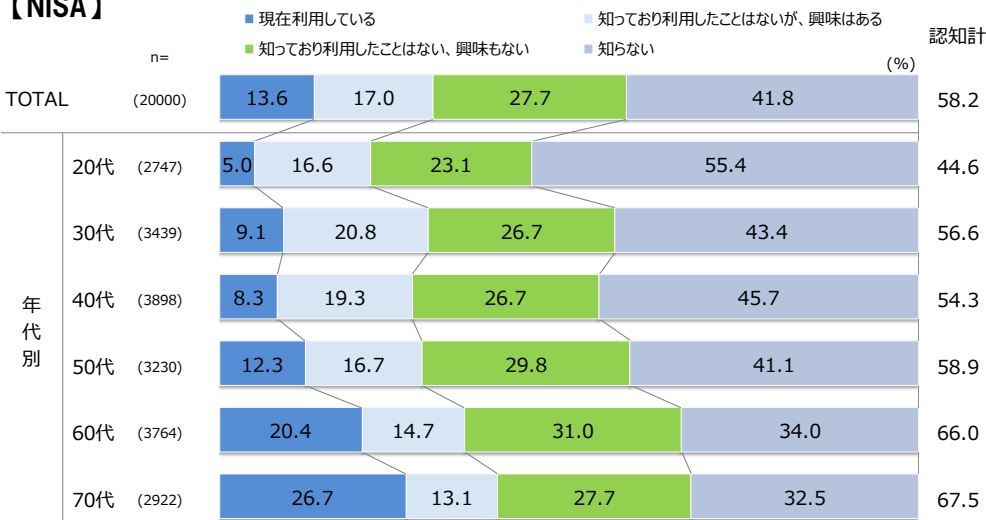


# 8.各投資制度の認知状況

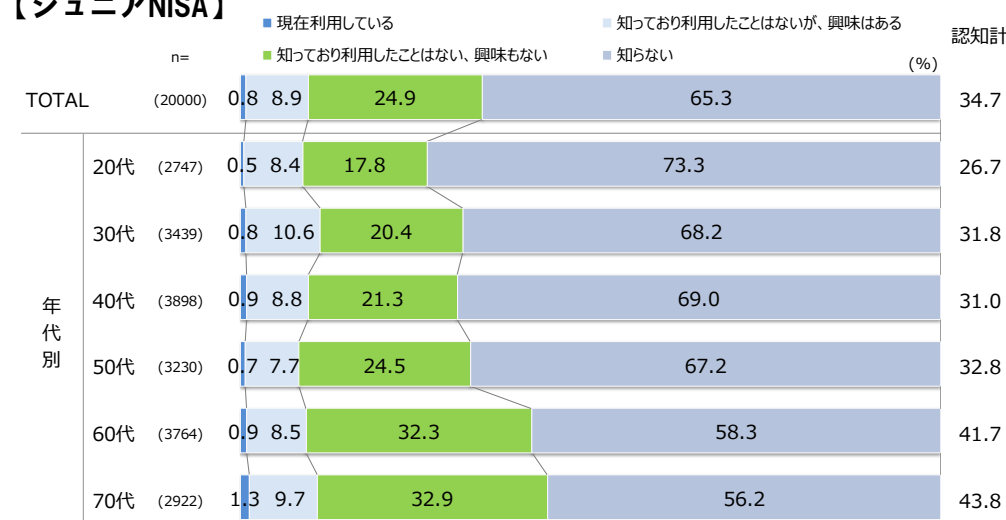
## 各投資制度の認知状況

(Q26・Q27)

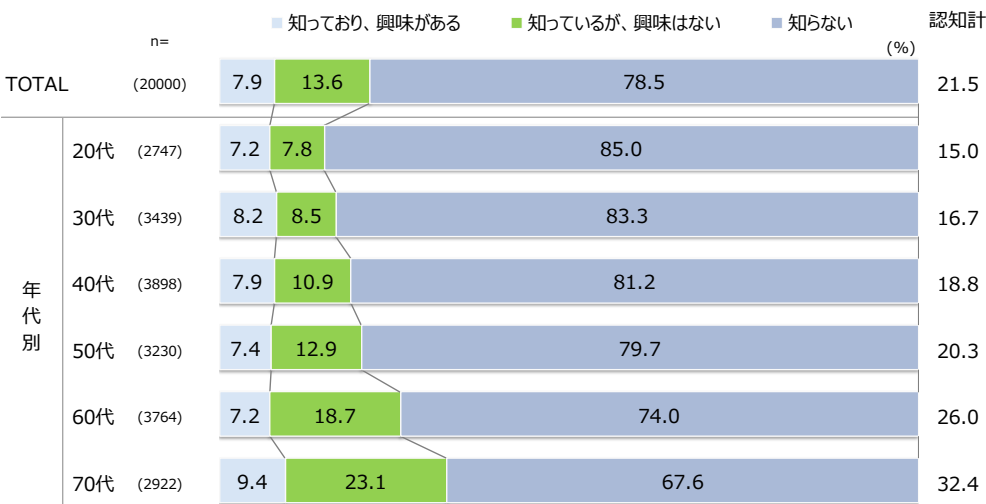
### 【NISA】



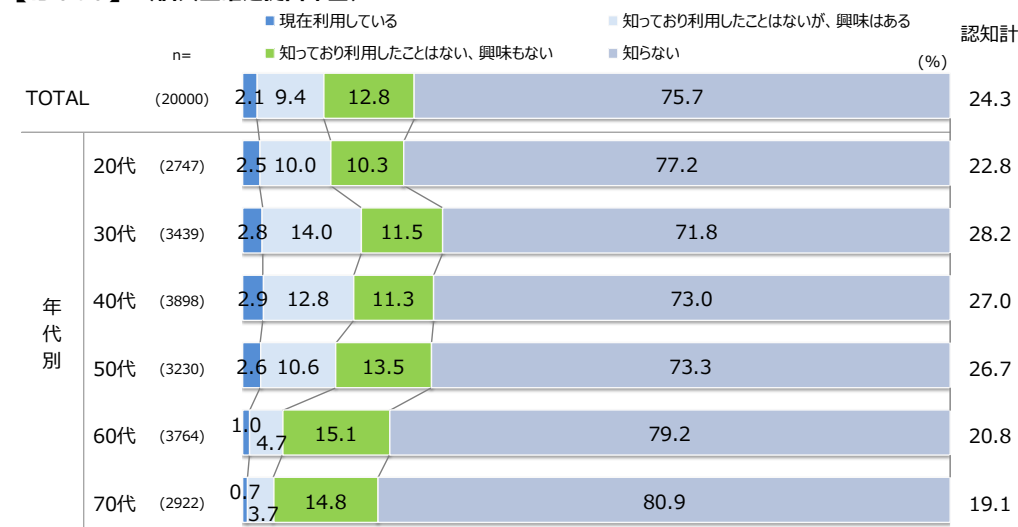
### 【ジュニアNISA】



### 【つみたてNISA】



### 【iDeCo】 (個人型確定拠出年金)



- NISAの認知率は58.2%、現在利用率は13.6%となる。「知っており利用したことはないが、興味はある」は17.0%みられた。
- ジュニアNISAの認知率は34.7%。現在利用率は0.8%と1%に満たない状況。
- つみたてNISAの認知率は21.5%。うち、「知っており、興味がある」は7.9%となる。
- iDeCoの認知率は24.3%、現在利用率は2.1%。「知っており利用したことはないが、興味はある」は9.4%みられた。